朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所　新京日日新聞社

日滿結ぶ久遠の基礎
治廢條約調印の盛儀
けふ國務院で嚴肅に擧行

建國後六星霜、滿洲國飛躍の一大段階たる法權撤廢の劃期的偉業は準備成り愈よ本日午前十時より國務院大講堂に於て之が調印式が擧行されることゝなり日滿不可分の強化、兩國民融和の根幹は本日の調印を以て十二月一日より實施の運びとなつた、隣邦中華民國の動搖を他所に王道の慈光は盟邦日本の眞意に依り全滿に滲透し生氣に滿てる國勢は更に躍進に次ぐ躍進を以て東亞安定の基礎を築くことゝなつた、本日の調印式は既報の如き式次第ゝ關係者參列のもとに植田全權大使と張國務總理との間に行はれ嚴肅なる式は新京放送局より全日滿に實況放送されるが滿洲國政府では日本政府に謝意を表するため張總理一行及び滿系記者團が渡日することに決定、本日調印式終了後正式發表される、なほ式後張國務總理の名を以て左記機關宛及び關係者に對して謝電を發する筈であるが調印式列席の滿洲國官吏は引續き午後零時廿分より同講堂に於て祝宴を催し澤田大使館參事官は本日午後六時三十分より三十分間に亘つて放送をなしけふ記念すべき調印の意義を一般に知らしめる、謝電發送先は次の通りである

近衞首相以下各省大臣、各樞密顧問官、松岡滿鐵總裁、前國務顧問宇佐美勝夫、關東州廳長官大津敏男、前法制局長三宅福馬、前法制處長大坪保雄、滿鐵理事阪谷希一、外務省矢野征記、奉天特務機關長鹽澤大佐、參謀本部花谷大佐、守屋參事官、前國務顧問植木壽雄、駐支大使館付武官原田少將、永津大佐、竹下大佐、壎國公使館谷正之、川越丈雄、青木一雄、原邦道

全滿諸官廳祝賀式
新京特市公署の式順

滿洲國政府では法權撤廢調印式の終了を祝するため全滿諸官廳を通じて六日午前十時より記念祝賀式を擧行しそれぞゝ所屬長官より訓詞、講演を行ひ官吏全員の緊張を併せて圖ることゝなつたが、新京特別市公署でもこの劃期的な盛儀に際し六日午前十時より市公署に於て市の附屬機關、附屬事業會社全職員、諮議會員、商務會、保長町內會長、慈善團體代表、その他名譽職員參集の上左の順序で祝賀式を擧行することゝなつた

一、日滿兩國旗掲揚二、日滿兩國歌合唱三、回鑾訓民詔書捧讀四、市長訓示五、日滿兩帝國萬歲三唱六、閉式

滿洲國側各小學校に於ても右と同樣の順序で祝賀式を擧行することゝなつた、尙市民大慶祝大會は十二月治外法權撤廢後大々的に擧行することになつた

日本再招請を議決か
英米佛三國代表非公式會談

【東京國通】九ケ國條約國會議は日本の不參加のため劈頭より頗る低調を示してゐるが、この窮狀を打開し會議を有效ならしむべくイーデン英外相、デヴイス米代表、デルボス佛外相等英米佛三國代表は三日夜非公式會談を行ひ最後の札としていよ／＼日本再招請を議決すべき空氣濃厚となつたと傳へられる、右に對し帝國政府は未だこの種の公報に接してゐないため再招請に應ずるか否かの態度については何等の意味表示をなさず監視的靜觀を續けてゐるが、四日の九ケ國會議の結果右の日本再招請案が採擇された場合においてもわが方としては大要左の如き見解をもつて再招請に應ぜざるものと觀測される

一、帝國政府はさきに今次の九ケ國條約會議が國際聯盟との不可分の關係にあることを指摘し、非聯盟國たる日本が聯盟の提唱によつてなされた本會議に參加し得ざる所以を闡明せる聲明ならびに回答を行ひ、不參加を表明し、四日の九ケ國會議第二日の結果が假令英、米、佛、伊又はソ聯を含む五ケ國會商の形式を執るにおいても日本は今回の九ケ國條約會議の延長と見ざるを得ない事を遺憾とする

二、支那事變に處する我方の態度は日支兩國間において現實に即せる解決方法を講ずる原則を堅持し、この不變の原則に合致せざる第三國の介入は事態を益々紛糾せしめ、東亞永遠の平和を確立する所以にあらずと思考す

英米代表演說（要旨）

【ブラッセル三日發國通】イーデン英國代表は次の如く演說した

余は米代表ノーマン・デヴイス氏と完全に意見を同じうする、戰爭は他に波及する可能性がある、われ／＼が何等かの方法によつて極東の平和再確立に貢獻したいと願ふのは實にこれが爲である、日本が本會議に缺席したことは甚だ遺憾であるが各國の協調を希望せねばならぬ、事態が困難になる程われ／＼は一層努力を盡さねばならぬ英國は今日から開催される會議にあく迄列國と協力する用意を有するものである

……◇……

【ブラッセル三日發國通】米國代表ノーマン・デヴイス氏の演說要旨左の如し

九ケ國條約締結當時各國は等しく極東の平和と各國の權益は同條約によつて維持されると確信したが、今回不幸にも極東に勃發した戰鬪行爲は漸次擴大し、在支外國人の生命と權益を脅かされるに至つたが、本會議において日支兩國に對し戰鬪を中止し平和的手段によつて紛爭を解決するやう要請するに各國の意見が一致するであらう、しかし米國は、條約の規定以外には何等の拘束も受けるものでなく、條約の範圍內で平和回復に協力せんとするものである

面子が見ものだ
獨ロ紙の社說

【ベルリン三日發國通】ベルリン・ロバール・アンツアイツング紙は三日の紙上で九ケ國條約會議に關し左の如く論じてゐる

九ケ國條約の趣旨は結構であらうが、條約締結當時バイカル湖以西に蟠居してゐたソヴイエト聯邦が外蒙、新疆省にまで觸手をのばして一切を御破算にしようとは誰も想像しなかつた、外蒙と新疆省の現狀變更に九ケ國會議國は何等異議を申立てゝゐないが、日本はかゝるソヴイエト聯邦の危險に對抗する必要上からも遂に起たざるを得なかつたのだ、ブリユツセル會議は大した收穫を擧げさうにもないが、どうして面子を保つか見物である

四手井侍從武官

【德州四日發國通】畏き邊り御差遣の侍從武官四手井中佐は四日午前十時旅客機で德州到着、直ちに德州練兵場において〇〇部隊長に聖旨・令旨を傳達、ついで〇〇部隊で少憩の後、午後一時德州發三時間にわたり空より獻縣方面の〇〇部隊戰線を觀察夕刻再び德州に着陸した

上海戰線一齊進擊
空陸呼應して敵壓迫

【上海四日發國通】上海軍四日午後六時發表＝（一）富士井部隊は三日午後三時頃江橋鎭南方地區において蘇州河を渡河し、四日朝來脇坂、下枝各部と聯携して當面の敵を猛擊中にして逐次これを南方に壓迫しつゝあり（二）わが飛行隊は四日朝來主力をもつて地上部隊に協力し齊家角、北新涇鎭附近を猛烈に爆擊し敵に多大の損害を與へたり（三）安達、淺間部隊方面においても前日に引續き四日朝來南翔東側陣地に對して攻擊中にして戰況有利に進展しつゝあり

リンカーン路南方敵陣に機銃の掃射

【上海四日發國通】北川中尉麾下の海軍航空隊〇〇機は密雲を衝いて午前十一時リンカーン路南方上空に現れ〇〇メートルの見事な低空飛行を行ひつゝ機銃の掃射を與へた、空中視察によれば地上の〇〇部隊は泥濘を冒してリンカーン路敵最前線に逐次肉薄しつゝあり、砲兵隊もこれと呼應し敵後方陣地に巨彈を浴びせてゐる

敵砲兵陣を爆擊

【上海四日發國通】四日海軍航空隊千田部隊〇〇機は午後三時から三時間に亘りわが楊樹浦附近を惱ます浦東の敵砲兵陣地に猛烈な反復爆擊を敢行した

「ゐたかッ」と躍掛り
敵將を袈裟斬り
勇猛、杉山小尉一騎打

【豐樂鎭四日發國通】京漢線急追擊の最後を飾つた滹河々畔西方（滹河鐵橋西方約四里）の戰は彼我の精銳が死力を盡して三日に亘る激戰を續けただけに日を經るに從つてわが將兵の豪勇を物語る手柄話が無口な勇士等の間からポツリポツリと語られてゐるが、その中の一ツに血風荒ぶ肉彈戰の眞只中に戰國時代さながらの隊長同士の一騎打ちが演ぜられたことが判明した、一騎打の主は田鎖部隊の杉山光尾少尉と二十五師百五十團長曾譲である、二十日田鎖部隊が西保障部落を占領後間もなく潮のやうにひた押しに押して來た敵の第一回大逆襲の際のことである、秋晴れの十月廿日午後二時杉山少尉は部下を指揮しつゝ西保障の本隊を守るため南方の高地を占領し一息ついたとき突然西方からワツトいふ喊聲が聞えた、ヤツと劍の柄を握る間もなく狂つた怒號は北からも南からも疾風のやうに近づく、瞬間少尉は

「開け、伏せ」

の號令を怒號した、忽ち飛び來る嵐の彈丸の中を鐵兜が脫兎のやうに山續きの高地から迫つて來た

「射て」

の聲が咽喉までこみ上げて來たのをグッと堪へた、味方の彈丸がこの大敵を全滅させるには餘りに少なかつたことに氣がついたのだ、瞬間の迷ひは悲壯な決斷に變つた

「彈丸拔け」

敵前既に六十米、手榴彈の霰が旺んに頭上を襲はんとする一瞬の號令は不敵千萬なこの言葉であつた、杉山少尉の小銃には最早一發の彈丸もない、そして敵は軍官學校生徒隊の精銳で得意の手榴彈を手に猛虎のやうに襲ひかゝつて來る四十米、三十米、突如少尉の口から肺腑を抉る

「突擊に前へ！」

の號令が青空を劈いて迸つた、皇軍步兵が最後の切札、死の銃劍突擊だ

「うおーッ」

と上る喊聲、敵が猛虎ならわれは狂へる雄獅子だ、無類の豪勇〇〇健兒は生命を塵と突き進む、見よ血の旋風の眞先きかけて挑み挑む華の若武者杉山光尾少尉は手に白刃を振り翳しつゝ手榴彈の嵐を潛つて

「隊長は何處にゐる」

とわめきながら敵中深く斬り入つた、白煙の中に一將あり

「ゐたか」

と一際傳家の一刀、白蛇は流れて頭上を噛んだカチーンと鐵兜に火が散る

「己れ」

次の瞬間血しぶきの中に敵將は仆れた、左肩から胸に見事なこの太刀袈裟斬りだ、これに氣を得た味方は一氣に押して潮のやうに敵を追ひ拂つて了つた、血染の將校服の裏には墨痕生々しく「二十五師百五十團曾譲」と書いてあつた、ホット一息する間もなく午後三時半耳を劈くラッパの音と共に砂煙りをあげてまたも敵の急襲だ、これに向つて斬り込んで行けば高地には更に新たな屍が山と築かれてゆく、激戰時餘敵は再び退けられた、だが敵は何時の間にかさすがに敵も選りすぐつた精銳だつた「實際ほめてやつてよいと思ふのです」と杉山少尉は豐樂鎭でしみ／＼と記者に語るのだつた、近代戰には珍らしい一騎打ちの主杉山少尉は長野縣下水內郡飯山町杉山虎治氏の長男、當年とつて二十六歲の若武者であるが目下家には春子夫人（廿二）令孃喜和子さん（三）の二人がある

疾風、開城鎭を占領
第二陣地目がけて殺到

【開城鎭四日發國通至急報】わが快速部隊の山野邊先遣隊は四日午後三時廿五分開城鎭第一線陣地を占領、日章旗を飜へした

【開城鎭四日發國通至急報】二ノ宮快速部隊は四日午後四時五十分開城鎭の敵前陣地を完全に占領、引續き第二陣地めがけて殺到しつゝある

正太、同蒲兩線の分進部隊
愈よ合體して太原攻擊

【北京四日發國通】正太線、同蒲線兩高地からひた押しに進む太原攻略のわが軍は、正太線においては小林、岡崎、鯉登、森本各部隊相次いで壽陽を突破、更に泰安驛に迫り目前に同蒲、正太兩線交叉點楡次を望んで太原の死命を制せんとし一方同蒲線方面より進む福田、小堀、栗飯原、猪鹿倉、後藤、長野の各部隊は三日夕刻忻縣を完全に包圍、四日午前一時これを突破、太原北方の開城鎭に向つた、開城鎭から太原までは十里、泰安鎭から楡次まであと七里、何れも山岳地帶を過ぎてなだらかな傾斜を描く平地となり閻錫山が太原の最有力陣地として恃みにした東の娘子關、北の忻口鎭も既に破られ、兩路からの進軍は遂に太原の心臟部開城鎭に迫まり、日本軍の突破、分進、合擊の外線は極度にせばまり、支那軍は今や施す策も盡きて閻錫山の統制は全く混亂そのものを示してゐる、この日本軍太原攻略分進包圍陣は、あたかも日露戰爭における遼陽戰の規模を遙かに雄大にしたもので、安奉線よりの第一軍、滿鐵本線を進んだ第二軍は遼陽で合流した如く、同蒲正太兩線より進擊するわが軍の太原、楡次の線における合體は既に時間の問題で、太原攻略戰の開幕は刻々と迫りつゝある

【開城鎭四日發國通】山西の原野を席卷しつゝ遼原の火の如く南下中のわが村井、福田長谷川各快速部隊は四日午後三時廿五分開城鎭の敵陣地を占領すると共に息つく遑もなく南へ／＼と崩れたつ敵を急追しつゝ一擧太原をめざし砂煙を捲いて進擊中である、敵の損害算なく開城鎭より太原まで四十粁足らずであり、太原占領はもはや時間の問題となつた

京漢線彰德驛占領

【北京四日發國通】北京軍司令部午後四時廿分發表＝四日の戰況左の如し

（一）同蒲鐵道方面福田快速部隊は四日午後二時頃太安北方九里石嶺頭附近を果敢に追擊中なり、敵は全く潰亂狀態となり開城鎭附近の既設陣地に據るいとまなく南方に退却中（二）正太線方面四日午後一時三十分頃小林部隊は楡次東北方約六里安羅鎭南方を急追中なり、鈴木部隊は同時刻頃木松堵鎭附近に於いて退却中の敵三百を捕捉潰滅せり

（三）京漢線方面、京漢線方面のわが部隊は本朝來彰德の敵を攻擊中にして午前八時彰德驛一帶を占領せり、引續き南門附近を攻擊中

太原に潰走中の敵密集部隊を爆擊

【天津四日發國通】わが陸の荒鷲軍は連日にわたり餘命旦夕にせまる太原方面を盲爆し敵の心膽を寒からしめてゐるが、中富飛行部隊は三日午後太原北方八キロ皇后院村附近を退却中の敵大部隊に對し數次にわたつて爆擊を敢行多大の損害を與へた

太安驛附近で敵六百潰滅

【石家莊四日發國通】潰走する敵を急追して正太線を進むわが岡崎騎兵部隊は三日午後二時頃太安驛西北方高地附近で退却中の敵約六百を追擊してこれを潰滅した、退却する敵は列車および自動車を多數使用してゐるが、わが軍の猛追擊に大混亂、戰場一帶は敵の遺棄死體、兵器、馬匹散亂眼もあてられぬ慘狀を呈してゐる、なほ太安東方および楡次東南方の地域は所謂有名な地隙地帶で敵は陣地構築にあたりこれを利用して二、三百も收容出來る洞窟を所々に掘つてゐた

楡次占領

【石家莊四日發國通至急報】楡次にあつた敵軍はわが軍の猛攻に堪へかね同地を放棄し西方および南方に向ひわが空の爆擊に覆はれつゝ算を亂して退却中である

【石家莊四日發國通至急報】正太線に沿うて疾風の如く進擊中であつたわが部隊は四日午後二時半楡次に突入、同地を完全に占領した、一番乘りは岡崎部隊、續いて小林部隊も入城した

蘇州河渡河戰に三少尉負傷

【倪家橋四日發國通】脇坂部隊向井優博少尉（大阪市）は一日の蘇州河渡河戰の先頭に立つて進み張家宅北方敵前十米で突擊の命令を下した刹那小銃彈のため左肩より背部に至る貫通銃創を受けた

【倪家橋四日發國通】下枝部隊伊藤喜代治主計少尉は二日午前十一時大行襲隊を率ゐて蘇州河を渡河せんとした際左膝に貫通銃創を受けた

【倪家橋四日發國通】下枝部隊北川清太郎少尉（滋賀縣）は一日の蘇州河渡河戰においても奮戰中敵機銃彈のため下顎に貫通銃創を受けた

上海戰で負傷
北海事件翁照垣

【上海四日發國通】第一次上海事變に際し十九路軍の師長として參戰蔡廷楷の片腕として働いた翁照垣は今回の事變にも上海戰線にあつて指揮に當つてゐたが過般わが軍の猛攻擊により大腿部に砲彈の破片を受けて負傷し目下佛租界某病院に入院し治療を受けてゐることが判明した、なほ翁は昨年の北海事件を惹き起した元兇である

伊太利、北阿に大軍集中
英佛不安增大

【パリ三日發國通】消息通の報ずるところによれば、イタリーの對スペイン工作は茲數週間下火となつたが、その代りイタリーはアフリカのリビア植民地に續々と大軍を集中し英佛兩國もこれに對抗してエジプトとチユニスにそれ／＼增兵したがイタリーの軍備は壓倒的優勢を示してゐる爲英佛兩國は頗る不安を感じてゐると言はれる、英國がスペイン革命政權と使節を交換すると傳へられるのはスペイン問題を一時彌縫して專ら北アフリカ問題に當らんとする深慮に基くものとみられるがイーデン外相とこの問題につき對策を協議する意向と解される

人事往來

▲川村博氏（官吏）四日來京ヤマトホテル
▲小住善藏氏（會社員）同
▲小田勝氏（同）同
▲藤田晉市氏（アンズ商會員）同國都ホテル
▲北川清氏（商業）同
▲本田儀助氏（會社員）同
▲後郷芳雄氏（滿鐵社員）同
▲利行勝生氏（西安炭坑監事）同
▲市川宗助氏（奉天商工銀行）同

偶語

九ケ國會議は開かれたが最初から見てゐたとほり暇人のお茶飲み座談以上に何物もなく早くも各國代表は浮足立つて來た▼支那側代表も期待してゐた英米佛三代表の細心の注意を拂つた云はゞ景品演說的態度と▼伊太利代表の日本支持を判然と見せた態度に拘らず失望の態であるが▼更にイーデン、デルボス英佛代表は國內の事情で今週末早くも引揚げ▼會議は委員會に任かせて本會議は當分休會するらしい模樣だ、これぢや支那側も益々悲觀せざるを得ないであらう▼大體己の非を蔽はんとするものに昔から良い結果を齎さう筈のないことを知らないといふことが抑も失敗の甚だ▼國民の膏血をしぼつた旅費を使ふのもこれが最後であらう▼せい／＼長逗留して遊んで置くことだ▼三十年手塩にかけて育てた子供か漸く一本立ちが出來るやうになつた▼子供も嬉しいだらうが育て親も嬉しい

加藤鮮銀總裁
辭表を提出か
後任は公森副總裁が最有力

【京城國通】加藤鮮銀總裁は二日賀屋藏相に對し辭表を提出した模樣であるが、總裁は來月八日に、二期の任期が滿了となるのでそれ以前に辭表を提出したものとみられる、しかして後任總裁としては公森副總裁が最も有力視されてゐるが、このほか過般辭任して閑地にある堀越前日銀理事あたりが有力視されてゐる

加藤總裁語る

【京城國通】加藤鮮銀總裁は四日午後一時卅五分着歸城したが、京城驛頭において語る

わが輩が辭表を提出したかつて、そんなことは曰く言ひがたしさ、わが輩の辭任說など何時も傳へられてゐるではないか

と答へたのみで眞疑は判然としないが四圍の情勢から推して同總裁が辭表を既に提出したか或は任期滿了を機會に辭任の意向のあることは確定的である

公森副總裁談

【京城國通】加藤鮮銀總裁が二日辭表を提出したとの情報は各方面に俄然衝動を與へてゐるが、鮮銀本店には何等情報なく、同總裁が四日午後一時卅五分着歸城の上一切明白となるものとみられる、右につき公森副總裁は語る

初耳だが或はさうかも知れぬ、四圍の情勢やその時の政治的動きでかういふことは決定するものであるから何ともいへぬ、もし本當だとして後任が自分に廻つて來るやうにいふが、そんなことはない、自分は一切聞いてゐない

新國策會社出現で
日滿商事動向注目さる

從來昭和製鋼、滿炭等各種滿鐵傍系會社製品の販賣を一手に收めて完全なる販賣統制を行ひつゝあつた日滿商事と、今回新たに設立を見る滿洲重工業會社との關係は各方面注視の的となつてゐるが、日滿商事はその設立の建前である滿洲重要產業の販賣統制會社として國策に準じて設立されたものである關係上、今回滿鐵に替り滿洲重工業會社の子會社として昭和製鋼、滿炭その他の製品を從來通り日滿商事扱ひとすることは一應當然なことゝ見られるが今回の新會社設立に關し日滿兩國政府は日產の統帥として鮎川氏の手腕を買ひ新會社出現となつたものだけに、生產部門に鮎川氏が縱橫の手腕を振ふに伴ひ販賣部門にも相當の變革を來すことは明確なることで、この點日滿商事の今後の動きは注目に値するものがある

社説

治外法權撤廢條約調印

一

日本の滿洲國に對する治外法權の撤廢並びに滿鐵附屬地行政權の移讓に關する條約は愈よ本日新京に於いて締結せらるゝ運びとなつた。すでにこの方針は早くより決せられてゐたところであり、日本政府は昭和十年八月九日の閣議に於いて治外法權撤廢に關する大綱を決定し即日これを外務省より發表したものであつた。而して昨年六月十日には滿洲國に於ける日本臣民の居住及滿洲國の課税等に關する日本國及滿洲國間の條約が調印され同年七月一日より實施され來つた。これは所謂治外法權の一部撤廢たるものであつてやがて來るべき治外法權全面的撤廢への一段階たるものであつた。今や今次の條約により、滿洲國獨立の完成といふ重大なる意義を獲得するに至つたのである。」

二

抑も治外法權とは、これを簡明に言へば、他國の領土に在つてその國の法令に從はざるの權利であると解されるところの廣汎なる優越的特權である。かかる特權を外國臣民に許容することは獨立國の重大なる瑕瑾たるはいふまでもない。日本がこれを撤廢することを決意したのは、ひとへに滿洲國の獨立を尊重しその健全なる發達を扶助せんがために外ならなかつた。而してこれに對しては、滿洲國としても日本の大乘的友好精神に對應し、相互にこれによつて總ての損失を惹起せざるやう萬般の準備を整へたこと勿論である。治外法權撤廢準備委員會の活動はもとより、地方制度、司法制度の整備、税制幣制の統一その他各般の庶政伸暢大いに觀るべきものあつたことは周知の如くである。今や滿洲國の準備成り、新しき體制はわれらの環境に形成されるに至つた、滿洲國のためにまことに慶賀に堪へぬ次第である。

三

斯くして日滿兩國の精神的融合は愈よ堅く、日滿兩國の不可分特殊關係は一層擴充強化されるであらう。嘗ては治外法權撤廢問題の如きこれを顧みるものもなく、附屬地行政權の移讓を口にする者の如き異端者視せられた時代もあつたことを思へば全く感慨無量たらざるを得ぬ。更にまた、かの中華民國が三十數年これを願望しつゝ未だ治外法權撤廢の實をあげ得ずにゐるのと對比しても特別の感想無きを得ぬのである。今や日本國民が滿洲の到る所に進出して現住諸民族と相携へて五族協和の實を擧ぐべき體制は成つた。われ〳〵は今次條約調印の目的とするところをよく理解し一致協力この國の健全なる發達を一層促進するといふ信念の下に邁進すべきことを強調せざるを得ない。

英國の對支工作こそ九ケ國條約の蹂躪
支那への好意拋棄の余儀なし

リースロスの支那幣制改革以來南京政府部内の親歐米派を懷柔し、支那政治經濟建設の名の下に、中南支那各地において幾多の鐵道敷設權ならびに鑛產開發權その他の權益を獨占的に獲得して來た英國は現在北支及び南支において展開されてゐる日支武力衝突の結果排日政策を標榜する現南京政權は崩壞の運命に陷るのではないか、若しこの政權が崩壞した曉、英國が支那において獲得した新舊既得權益はどうなるのか、南京政權内に植ゑつけた英國の政治的指導權はどうなるのか、との危惧から現南京政權を崩壞せしめまいとする所の國際干涉を日本に加へんがために聯盟を操縱し、米國を誘ひ白耳義を勸說し、こゝにスペイン問題解決のためのスペイン問題不干涉委員會にも似た九ケ國條約會議を召集し、日支紛爭に干涉を試みんと暗中飛躍してゐるのである

□

スペイン問題は元來國内における政治思想を異にする分子と分子との政權爭奪戰であつて、本來ならば他國の干涉又は介入すべき問題ではないのだ、然るにソ聯が幾多の赤き鬪士を政府軍に派遣し、その他武器、軍需品、戰費を送り政府軍を援助して革命軍を戰敗に終らしめんとしたゝめこゝに獨、伊兩國の革命軍援助を誘發し、遂に一種の國際戰爭を展開するに至り、それが第二の歐洲大戰の導火線とならんとするの形勢を釀成するに至つたゝめ佛英兩國も遂に默視するを得ずとして不干涉委員會の成立を見るに至つたのである、この不干涉委員會も提唱國たる英佛兩國が公正なる態度をもつて臨んでゐるならば何等かの成果を齎すことが出來たのであるが、英佛兩國は種々の利害關係上兎角ソ聯の主張に加擔し、獨、伊兩國を押へつけやうとする傾向があるため今日まで何等の成果を得ずスペイン不干涉委員會の存在してゐる他面においてソ聯ならびに獨伊兩國の援助行動はいよ〳〵露骨激化し、止まるところを知らないといふ狀態を演出してゐるのである

支那事變はスペイン問題とは國際的性質を全く異にしてゐる、この事變は東亞の平和安定に背く排日政策を驀是とする南京政權を膺懲、打倒すべく起つた日本帝國と南京政權との爭ひである

□

換言すれば日支兩國間の確執であつて第三國の介入すべき問題でない、況んや日本政府は事變の劈初において今次日本が起つに至つた理由は自衞權の發動であつて決して支那を侵略せんとする意思は寸毫もない、又他國の支那における既得權益は充分尊重することを聲明してゐるのである、第三國は日本のこの聲明を信頼し嚴正中立の態度をとることが國際間の慣習であり儀禮である、しかるにも拘らず英國は支那事變とスペイン問題とを混同し然かも日本の現在支那において執りつゝある行動が九ケ國條約に違背するかの如き一方的不當なる解釋を下し、九ケ國條約會議召集の擧に出でたことはその意那邊にあるであらうか、吾等をして率直に言はしむれば日本の行動に對し國際的重壓を加へもつてリースロスの幣制改革以來、政治上ならびに經濟上の指導權を英國の掌理に收めた南京政權の崩壞を未然に防ぎたいからに外ならないのである

□

しかし英國の自己打算のために日本が九ケ國條約の違反國なりと誹謗されることは日本として默止することの出來ないところである

抑も九ケ國條約がワシントンに於て締結された當時の國際關係を檢討するならばこの條約の眞の意圖が那邊にあつたかを知ることが出來る、率直に謂へばこの條約は歐洲大戰の期間を通じて支那に扶植された日本の努力に一大打擊を加へ支那の政治的經濟的建設は列國協調主義でゆくといふことを眼目としたもので、日本にとつては極めて面白くない意思の働いた條約なのである、然りと雖も日本は未だ一度も列國間の對支協調主義に違背する行動をとつたことはないのである、却つて九ケ國條約會議提唱國たる英國政府こそ九ケ國條約の違反國なるのである、それは何か？

□

九ケ國條約の生命は「締約國は支那において獨占的排他的權益を獲得しない、又締約國政府は自國民の支那におけるかゝる行爲を援助しない」といふにある、すなはち國際協調主義の原則の上においてのみ對支政治的經濟的建設の活動に從ふことを協定したところに本條約の生命があるのである、この基本的精神から觀察するならば、英國政府が單獨で支那の幣制改革の衝に當つたり、或は米國政府が單獨で棉麥借款に應じ南京政府の財政を支援したりしたことは明かに九ケ國條約干犯行爲なのである、況んやリースロスが恰も南京政府の財政經濟建設の指導的地位に據はり、英國資本を投入して中南支各地において得た幾多の鐵道敷設權鑛產開發權その他の獨占的權益獲得行爲はいづれも九ケ國條約に違反するものであり、同條約は英國のこれ等の行動によつて完膚ないまでに蹂躪されてしまつたのである

英國が斯樣な條約蹂躪行爲に對し日米はじめ各條約國がなぜ默つてゐたのか、それは該條約締結後今日に至る十五ケ年間において支那を中心とする環境が著しく變化し本條約は全く置き忘れられた條約として一顧もされないほど無價値な古證文となつたからである、即ち支那に對する國際協調主義は既に過去のものとなつて了つたのである、假りにこの條約が生きてゐるものと假定するならば最近における英國の對支活動こそ九ケ國條約に違反するものである

□

英國の行爲が九ケ國條約の違反であることを最もよく立證してゐる文獻は一九二三年五月パリに開かれた日英米佛財團によつて形成された對支新借款團會議において發せられた聲明書である、該聲明書は次の如く述べてゐる

借款團の方針、すなはち支那の經濟的及び財政的問題に對し國際的競爭に代るに國際的協力をもつてする主義は一九二二年二月六日ワシントンにおいて調印された九ケ國條約において一層廣汎に支那並びに列強によつて決定的確認され且つ裏書きされた、九ケ國條約は畢竟する所列強が支那の主權を尊重しその領土を維持し且つ支那に對しその經濟的資源を開發し且つ有力安固なる政府を樹立するがために自由にして支障なき機會を約束したものである、本借款團は右の大方針を實現するに適當なる機關である、借款團に屬する各國財團はなほ成すべき幾多の事業を殘してゐるに鑑みこれ等の事業が遂行せらるゝに至るまで各自の便宜のみを考慮して單獨行動の自由を回復せんとするは正當にあらずと確信するものである、殊に借款團が十九世紀の最後の十年間に行はれた所謂利益範圍設定の政策から支那を救ふ主たる障壁となつてゐることを思へばますます右の確信を強むるものである、所謂利權競爭時代に各國が支那の特定地域に優先的權利を行使せんとする主張をなしたことは世人の記憶に新たなるところである、若し斯の如き主張が持續されてゐたならば支那の分割は必至の勢であつたのである、今日再びこれに類する政策を執らんか同種の結果を齎すことは容易に看取される、支那のために圖つて利益となることは列強が各別個に支那に交涉するよりも一體となつて行ふべきであり又列強が相互に競爭するよりも協調協力することが好ましいのである

□

今述べたのが新借款團の一九二三年の聲明であつてこの聲明は九ケ國條約締結によつて釀成された締約國間の支那問題に即する感情を最もよく表現してゐるものであるとともにこの聲明を一讀したならば英國の最近における對支活動が如何に九ケ國條約を蹂躪した行爲であるかゞ納得されるであらう

從つて英國が、今次日本が蹶起するに至つた決意の眞因を究めずして九ケ國條約違反行爲だと斷定することそれ自體が儀禮を失するものであると同時に、九ケ國條約會議召集の主唱國たるの資格に英國にはないと斷ずべきである、但し九ケ國條約は締約國の圈外に立つソ聯の支那赤化政策の具體的活動によつて國際協調主義は第一に破壞され、更に締約國の一つである英國政府の對支財政經濟的活動によつて完膚ないでまに蹂躪され、而して南京政府の排日政策遂行によつて日本は九ケ國條約において約束せる支那に對する好意を拋棄せざるを得なくなつたのである

河南省兵器廠で毒瓦斯彈を製造
支那軍の秘密製造本據暴露

【天津四日發國通】過般來山西戰線で支那軍は不法にも毒瓦斯彈を使用しつゝあつたことは周知の事實であるが今回はからずも北支戰線に供給される毒瓦斯彈製造本據が暴露されるに至つた、即ち河南省鞏縣（洛陽東方五十粁）にある南京軍司令部直系の兵器廠は支那事變勃發と共に毒瓦斯の製造に懸命になり陰沮日とともに利あらず敗退又敗退の狀態に鑑み窮餘の一策として人道も何も無視しこれを使用するに至つたものであるが同兵器廠で製造されつゝある種類はイペリットの猛毒性のものを始めとしてアダムサイド鹽化アセトフイナン等多樣に亘つてゐることが判明した

宋哲元氏
師長、參謀長を軍法會議に

【天津三日發國通】流轉の敗將宋哲元は蔣介石の命令と稱し黃河北岸にある各部隊に對し絕對に渡河して退却すべからずとの嚴命を發したが、潰滅の一途をたどる第廿九軍の內部は昨今軍規紊亂殊に甚しく全く匪賊化せるものが大部分を占めてをる狀態にあり、宋哲元は第卅七師長劉および第卅七師の參謀長徐を怠慢の廉で軍法會議に附したと傳へらる

邊境滿洲國人からも
續々獻金

滿洲國人の今次事變に對する關心は日を追つて高まり、北支接壤地の青龍縣においては小學校職員生徒一同より二百六十八圓四十六錢を、又赤峰中小學校生徒一同より八十九圓九十三錢五厘、凌源農學校教職員生徒より十五圓を、省教育廳を通じ日滿兩軍に贈呈方依賴して來たので早速手續を執つたが、當局者は滿洲國人のこの篤行に感激してゐる

ベルギー內閣
組閣難に陷る

【ブラッセル三日發國通】ベルギー藏相アンリードマン氏は廿五日總辭職したヴアンゼーランド內閣の後を受け後繼內閣組織に着手したが遂に失敗し目下カトリック黨首領ペルロー農相が組閣に努めてゐる、しかし三日に至り社會黨が入閣を拒絕したゝめまたも組閣難に陷りベルギーは九ケ國條約會議の最中において重大政局不安に直面してゐる

生命財產の危險で
福州の住民逃避
續々香港、南洋方面へ

【香港四日發國通】わが空軍の福州上空飛翔は十月廿四日から開始され、その都度宣傳ビラを撒布し上海方面の戰況や國民政府の秕政を判り易く知らせてゐるので同市軍政當局は周章狼狽、右宣傳ビラを手にすることは勿論その內容を他人に喋べるものは五年の禁錮に處すると威嚇し、さらにこれが取締りを嚴重にするため、一家に二人の壯丁あれば補助警官として一人を强制徵集し恐怖政治を施行してゐる、一方戰費獲得のためあらゆる官民機關の月給五十元以下のものはその一ケ月分を八ケ月月賦で、五十元以上のものは四ケ月月賦で救國公債を强制的に購入せしめ、また卅年勤續せる臺灣銀行の某買辦は日本人の金を長い間貰つたといので一萬元を甚だしきは以前に久しく三井物產や鈴木商店に働いてゐたものに何とか罪をきせ一千元づゝを强制的に救國公債を購入せしめ個人の財產寺院公財團の財產などを色々の名義をもつて强制徵發し、共產政治的色彩濃化し有福者は續々香港、南洋方面に逃避してゐる

上海神社の
境內淸掃

【上海四日發國通】虹口地帶の明朗化は先づ上海神社からと當地在鄉軍人分會員は陸戰隊作業班と協力して四日拂曉一齊に出動神殿の周圍ならびに事變以來荒れ果てた境內の淸掃に當つた、閘北の敵迫擊砲彈により祭殿の屋根その他はかなりの被害を受けてゐるが御神體は修理完了をまつて假奉安所より神社へ遷安の豫定である

德縣の回教徒代表
韓復榘に即時停戰を要求

【德州四日發國通】德縣管下五千の回々教徒代表三十餘名は三日午前十一時城外其營の淸眞寺に會合し、山東省內戰爭反對、日本との提攜につき回教徒の態度を決議しその結果韓復榘に即時戰爭の停止方を要求するところがあつた

嶺雲進水式

【大阪四日發國通】帝國海軍の新銳相次いで完成してゐる折柄、一等驅逐艦嶺雲はかねて大阪藤永田造船所において建造中のところこの程完成したので四日午前八時吳鎭守府司令長官代理吳警備戰隊司令官水戶少將ほか朝野名士多數參列、軍樂隊の吹奏と湧き起る觀衆の歡呼裡に盛大な進水式を擧行した、同艦は排水量一、五〇〇噸、速力三十四ノット、主要裝備十二・七糎砲六、發射管八、探燈一

總局人事異動

總局では北支事務局の陣容整備に伴ひ四日約百名に及ぶ人事の異動を發表したが、その主なるもの左の如し

總局參事　楢谷好太郎
同副參事　伊東國雄
總局監察補　竹森愷男
吉林鐵路局人事課長　同副參事　川原定夫
齊々哈爾鐵路局電氣課長　同副參事　石津房夫
北支事務局勤務を命ず（各通）

硝煙消えやらぬ北支に
一大文化機關設立
新城博士老軀を提げて立つ

【北京四日發國通】國境を越え人種を越えて支那と日本のため一大文化を打ち樹てる大理想のもとに、硝煙なほ消えやらぬ北支に飛込み挺身調査を續ける篤學の老學徒がある元京大總長現上海自然科學研究所長新城新藏博士がその主人公である、博士は上海にあつて泰然學徒としての本分を守り續けたが、戰況の發展と共にこの機會に從來の日支文化關係を一新し再び悲慘な戰爭を起さぬやうにとの熱意抑へ難く六十五歲の老軀に鞭打つて十月初旬東京に歸り政府はじめ各方面に自己の熱望を披瀝したのち再び上海に歸つたが、將來對支文化事業の中心となるべき北支の現地調査の必要を痛感し、席の溫まる暇もなく再び出發塘沽を經て十一月一日北京に入り、十一日まで軍、大使館、各大學、各研究所等を訪問して新文化機關設立の豫備調査を續ける豫定だが、老博士畢生の抱負といふのはつぎのやうなものである

一、從來團匪賠償金等で行つてゐた對支文化事業は將來再び團匪事件を起さぬために建設されたものであるから今回の事變に際してはさらにこの悲慘な戰爭を起さぬやう、一大文化建設運動を起すべきである

二、この事業は單なる日本のための事業ではなく全く支那大衆のため兩國延いては東亞の平和のためのものであるから一切の行きがかりや感情を捨てゝ堂々世界の大國としての態度においてなすべきである

三、從來の事業は僅々年四百萬圓程度の小規模のものであるためその成果にあき足らざるものあり、將來は少くも二、三千萬圓を投じわが科學陣を總動員し東西兩帝大總長をも含む對支文化委員會を組織しその下に科學、思想、衞生、資源開發等の各專門事業を行はせねばならぬ

浩然たる意氣青年の如き博士を四日朝北京ホテルの一室に訪ふと、老博士は白髯の緒顏を運かし乍ら次のやうに語つた

戰爭の後には直ちに衞生の施設が必要だ、開發しきれぬ資源は兩國の大衆のために開發されねばならぬ、實行の方法はそれ〴〵の專門家に任せるとしても直ちに行はねばならぬことは澤山あるではありませんか、これは現在の大學や研究所のやうな貧弱なものではとてもやりきれぬ、私は對支文化事業の一端を受持つ者として一日も早くこの建設をなして行きたいと思ふのだ起すため出來るだけの調查を兩國永遠の平和のためこの事業のためなら私は何處までも働きたいと思つてゐる

商況欄（四日後場）

株式相場

●大連株式（短期）　寄　引

銘柄	寄	引
五品	一六、〇〇	—
豆新	一六、五〇	—
東新	一三〇、八〇	—
日產新	四七、〇〇	—
滿鐵新	五四、五〇	—
只新	五四、九〇	—
鈴新	三六九、〇	—
土木	一三、九〇	—

●日新　五六、〇〇　—

●奉天株式（短期）　寄付　大引

銘柄	寄付	大引
滿取	—	一五〇、五〇
東新	一二一、四〇	—
大新	八二、八〇	—
日新	七五、四〇	—
同新	五八、四〇	—
五品	一六、〇〇	—
豆新	—	—
滿鐵新	三三三、五〇	—
鐘新	三三、〇〇	—
同甲	五四、〇〇	—
電毛	—	—
滿電	—	—
日曹	六三、五〇	—
電化學	—	—

新京取引市況（四日後場）

品名	寄	引	出來高
現物			
包米	—	—	—
大豆	五八、一五	—	三車
高粱	—	—	—
小豆	五一、七五	—	一車
吉	—	—	—
十一月限	五、六九	五、七〇	四〇車
●高梁	—	—	—
十一月限	—	—	—
十二月限	—	—	—

手形交換高（四日）

枚　九九八、七七九、…円

鮮魚小賣相場（十一月四日）

品名	最高	最低
活鯛	一、五〇	七七
小鯛	七二	六四

品名	價
チヌ鯛	四七
イセエビ	一、二〇
アマ鯛	三六
小レンコ	…
白アマ	三三
カスゴ	四〇
運子鯛	…
チコ	…
オニエビ	…
車エビ	…
小エビ	…
ヨコワ	六五
中小エビ	二〇
スアマ	二五
小アジ	…
ブリ	三三
メジロ	二五
ヤズ	…
イトヨリ	…
トアジ	…
マナ	…
マス	…
ヒラス	五二
トラサワラ	四二
サケ	…
サワラ	四〇
スズキ	二七
セイゴ	…
小アジ	…
ニベ	二七
アジ	二〇
サバ	一五
ギザミ	…
赤ムツ	二七
アコウ	…
メバル	二〇
アイナメ	…
ボラ	二八
スクチ	二四
タコ	二四
紋甲イカ	…
甲イカ	二七
手長タコ	…
松イカ	…
水イカ	…
飯蛸	…
二番イカ	二四
ヒラメ	…
星カレイ	三八
カレイ	三〇
小イワシ	二〇
イワシ	一五
ホーボー	…
ニシン	…
グチ	…
コノシロ	一六
ツナシ	一八
コチ	…
オコゼ	二七
太刀魚	二六
キス	一八
ハゲ	一六
コノシロ	…
太刀魚	二七
キス	一六
ハゲ	五〇
サヨリ	三〇
アナゴ	二四
ハモ	…
ハエ	…
赤イ	八
トジョウ	…
ハゼ	…
白魚	…
ウナギ	一、〇
鹽刀魚	九〇
アワビ	二〇
赤貝	二七
タコ	…
鹽イワシ	…
黑生子	四五
ハマグリ	四
カキ	三〇
干エソ	…
カニ	二四
小アシ	…
タラ白子	…
明太子	…
生明太子	…
千木一ボ	四〇
ムキミ貝	…
貝柱	…
ニシミ貝	…
帆立貝	一〇
蜆貝	一五
カマボコ	一七
スバト	…
オコロタイ	…
ワカメ	…
海月	…
赤花	…
ハゲ	…
アラ	…
鹽サバ尾	…

（切り身相場）

品名	價
梶木	八五
水鮹	…
メジロ	…
ブリ	六五
サワラ	一五
スズキ	六五
サケ	…
ヒラマサ	…
アスペ	五〇
スラメ	五五
ー（赤身）	…

鐵唸る東邊道
通化省の山々を見る
（終）　堀井宣之

通化より 林子筒、老嶺、臨江、中江鎭、滿浦鎭と通化省から隣接朝鮮領を經た環狀日程線を一巡して十九日通化へ歸着した一行は翌二十日鐵廠子の炭山と七道溝の鐵山へ最後の視察旅行を行つたバスは通化より東へ第一日の通路を辿り頭道溝門の手前から南へ分れ七道溝へ直行した七道溝の鐵鑛は今より約三十年前半島人某氏がこれを發見したがその後手をつける人がなくそのまゝになつてゐた

滿洲建國後滿鐵調査隊が第一回昭和八年、第二回昨年十一月、それに續いて本年第二回の調査を行ひ調査を略々完了した、こゝの鐵鑛は東山に赤鐵鑛、西山に磁鐵鑛各々三枚づつの層があり、鑛量は兩者合せて約五百萬トン品位は平均約五十五%で大栗子や老嶺のそれには劣るが富鑛たるを失はず、それに西山の磁鐵鑛は五乃至六%のマンガンを含んでゐる

一行は東山へ登り掘割數ケ所とボーリングを視察した、老嶺、大栗子で知識を仕入れた一行の人々は一かどの專門家顏をして色々突込んだ質問を發して調査隊の人を微笑ませた

老嶺、大栗子と同樣この山にもトクサの生えてゐるのをみて「鐵鑛とトクサとの關係」といふ大論文を書かうかと力んでゐる人もあつた、一行は六道溝で南方の山に山火事を見た、これは秋に山を燒いて翌年の耕作のため肥えた山畠を作る滿洲人の惡癖で、近時の國內森林資源の缺乏はこれに負ふところが多い、一行は奉天より通化へ來る飛行機の上から見た數ケ所の山火事のことを話し合つたが、昨日通化へ來て今日一行に加はつた林野局の手利監理科長はあれで二、三年經てば立派な鑛木が出來るものをと殘念がつてゐた

正午過ぎ 七道溝を辭した一行は鐵廠子へ引返し滿炭調査隊の人々の案內で七道溝炭山を見せて貰つた、調査は既に完了してゐるこの山は地並以上に三百萬噸、地並以下に一千一百萬噸の石炭を埋藏してをり質は黑色瀝靑炭に屬する

既に幾つかの坑道も出來てゐるが、まだ販路が無いため大規模の採掘は行はれず、製鐵所建設に對し待機の姿勢をとつてゐる

この山の東南方にも優秀な炭山が横はつてゐるがまだ調査は行屆いて居ない、一行は午後二時過ぎ山を降りて滿炭調査隊宿舍に入り晝食の御馳走に與つた、宿舍は設備萬端整つた堂々たるものであり、料理も山の中と思へぬ程凝つたものであつた

□

鐵廠子視察を終つた一行は通化へ向つて最後のバス行を行つた

我々はすでに一週間の視察旅行に依つて通化省內資源の概略を知ることを得た

今その全部を考察すれば鐵は老嶺、大栗子、七道溝等合計して富鑛一億噸は下らないところでこれに對し石炭は鐵廠子を始め興隆村、大泉眼、白拉子、大栗子溝、磨菰園子、五道江、五道嶺等合せて約八千萬トン、そのうち使へるものは約六千萬トンといふから銑鐵一トン製造に二トン半の石炭を要する割合から見れば石炭の手當に聊かの不足を感ずる

しかし石炭についても調査の行屆いてゐない所が相當あるのでその調査進捗と相俟つて數年間の石炭自給には事缺くことは無いと見られる、而も大栗子溝の如き優秀な鐵鑛は鐵鑛爐へぶち込むのは惜しく電氣精錬でも出來ないものだらうかとの久保撫順炭鑛長の言はあながち冗談ばかりでもあるまい、鐵、石炭以外に製鐵事業に必要なマンガン、石灰岩に就てはマンガンは大栗子溝、七道溝にあり石灰岩は到る處に存在して居るから通化省は製鐵事業に對し資源的條件を略々完備してゐるといはねばならぬ電力については火力、水力兩發電が目下考慮されつゝある

通化省は 今やその華々しい發展に對しスタートを切らんとしてゐるが、この豐富な資源が世に出でんとするに際し我々の銘記すべきは道路建設と鐵道建設の調査に携はつた滿鐵及び國道局の技師の辛酸である、彼等は人跡稀な地に、匪賊橫行の地に、必ず眞先に入つて行く、トラックとテントと鍋と釜と食糧とを持つて、時には匪賊と戰はねばならぬ、時には身をもつて河を渡らねばならぬ、森林中に迷ひ込むのは毎日のことである、一日の難業を終へた彼等がテントに集つて飮む酒こそ明日の活動へのスピリットである

零下三十度の寒中にテントのなかで火をたいて寢たことがあります、足先は暖かで頭はコチコチです、さうなると防寒テントも普通のテントも同じで我々は防寒テントは使つたことはありません、なれると寒中に上半身裸でも平氣で居られます、われわれ日本人はどんな寒さにも暑さにも順應し得る民族であることを身をもつて體驗しましたよ

と語る滿鐵の遠藤氏の顏には幾多の艱難に打勝つた努力の皺が刻まれてゐる

□

一行は通化を離れんとするに當りこゝに再び大きな吉報を得た、省內未踏査地域の調査に當つたゐる一隊が二、三日前八道江と老嶺の中間の八道江において老嶺のそれと同樣な鐵の富鑛を發見した、量については未だ正確な見當がついてゐないが、一つの面白い問題を提供した

老嶺の第二鐵層と三道江の鐵鑛層は同じ樣に珪岩と石灰岩に挾まれて居るが、今度の八道江のそれが丁度同じ關係を示してゐる、これによつて當然老嶺から八道江を經て三道江に至る百キロの地に一つの鐵の鑛脈が續いてゐるのではないかとの想像が致される、若しさうなれば老嶺十億の豫想はすつ飛んで更に五十億、百億となることもあながち空想とは言へない

通化がザールを遙かに凌駕する大鐵山となる通化省田村次長ならずとも誠に喜ばしい、しかも痛快なことではないか記者はこの大きな吉報をお土産として

通化省八十萬の住民の福祉と日滿兩國の繁榮のため、ひいては東亞永遠の平和のため通化省內鐵鑛開發の一日も早からんことを希望しつゝこの稿を終る、艱難と戰ひつゝ開發のため努力を續ける呂省長、田村次長以下の施政の人々及び諸種調査隊の人々に幸あれと祈りつゝ

內務行政上の功績多大
惜しまれて去る大津前長官

關東州廳長官として滿洲國官吏より初の關東局入りをする前內務局長官大津敏雄氏は七日「はと」で大陸の玄關關東州に赴任することゝなつた、氏は昨年八月淸水良策氏の後を襲つて神奈川縣經濟部長より民政部總務司長に着任以來在任一年三月その間地方行政の整備、地方滿系官吏の統一に熱意を傾け治外法權撤廢準備を初め土木司の國道局への移管、移民計畫の擴充、社會衞生施設の根本方針樹立など着々と進捗した功績は大きなものがある

× ×

前任者淸水良策氏は優秀な內務省官吏として各方面から多大の期待を以て滿洲國に迎へられたが當時の國內情勢は未だ建國當初の意氣に燃ゆる志士型の日系官吏の初期工作時代で軌道に乘つた日本の內務行政のそれと大いに趣きを異にし、殊に地方官吏の中堅をなす縣參事官の興奮振りはその經歷が凡ゆる系統を網羅してゐたゝめに之を壓へ切れず淸水氏は着任匆々「自分ではやれぬ」と投げを打ちこれがため淸水氏を中心とする內務省官吏の評判は芳しくなかつた、斯くして淸水氏は來滿當時の經綸の一をも實行し得ず退却して內務省に復歸したがその後を受けた大津氏は內務省官吏の惡評の眞只中に着任山積する日々の書類に片つ端しから決裁を下すとともに先づ地方事情を知らぬでは滿洲では何一つの仕事も出來ぬと全精力を傾注して無理に暇を作つては地方狀況の視察に出掛けた、出張先では役所で狀況を聽取し、夜は參事官を集めて深更までその實況を膝を交へて詳さに質ねノートしたそれ故氏の地方事情の認識は地方官吏が驚くほどで財務科長會議の際など財務科長よりも義倉狀況が詳しく一々數字を擧げての說明に關係者は眼を瞠つてゐた

× ×

氏を評するに「天井から床[illegible]で掃除する人だ」とか「事務官の仕事までする人だ」と言ふ人があるがそれはあの精力粘りに太刀打ちの出來ない者の言ふことで街村制度の確立省地方費の設定當時は親子丼の晝食で夜半まで頑張つた努力は異常のものである、前任者の殘した不評の空氣の中に大車輪で働いたが故に不評を一掃し得たものと謂ふべきだ

現在の滿洲國で「働き過ぎる」人々を嫌惡するのは吾々には受けとれない、滿洲國はいま建設時代だから……菅太郎、岩澤博君の優秀官吏をつれて來たことも陣容整備の上から見逃せない功績の一つである

× ×

今や幾多の行政上の功を殘して惜しまれて關東局入りをする大津氏は「關東州に行つてからは滿鐵本社もあるからウンと勉強したい」と語つてゐるが吾々は氏が北支經濟開發に重要役割をつとめんとする關東州の特殊事情を研究し再び新京に活躍する日を待望する、幸ひ好漢の健闘を祈つて止まない（寫眞は大津前內務局長官）

國營檢查に關し
大連三團体より陳情書提出

國營檢查制度實施を二ケ月後に控へ大連特産業者の動きは漸く活潑となつて來たが、去る十月廿七日の重要物産取引人組合特別委員會において當局に陳情することを決定、左の如き趣旨に基き滿洲重要物産組合長阿部吟次郎、大連取引所重要物産取引人組合長增田昇二、大連油坊聯合會長本多兵一の三氏をもつて滿洲國産業部大臣、滿洲國駐箚特命全權大使、南滿洲鐵道會社總裁、關東州廳長官へ廿九日附で陳情書を提出することゝなり、滿洲國政府、駐滿全權大使に對しては重要物産組合照井書記長、取引人組合萩原書記長、油聯西村理事三氏が右陳情書を携へ三日夜行列車で赴京の上當業者の要望を具陳することゝなつた

陳情書全文

さきに滿洲重要物産國營檢查制度の御實施に資せんが爲去る六月廿二日並に同廿九日附陳情書を以て御清鑑を仰上候處先般勅令ならびに産業部により御發布相成、今後なほ御制定相成るべき檢查規則其他において前陳の願意を御聽許被成下べきやに被存候へ共今回御發令の施行規則によれば大豆增量の如き取引上、重大なる變革を來すべき事項を突然御發布相成、かくの如きは事頗る重大にして獨り當業者の利害のみならず農民の福祉ならびに滿洲國産業の開發に至大なる關係を有するを以て別紙の通り茲に重て御願申上げ一層實情に即する制度により圓滿なる實施を促進し國家的大事業を達成致度候間實情御賢察の上特別の御詮議仰上度各團體協議の上此段奉願候

△國營檢查に關する希望

一、黄大豆檢查規格中水分に關する件

滿洲農産物の生産狀態の現狀に照し檢查規格に水分を表示し、これを成文化せらるゝことは作柄平常時においても取引の實情に副はざる嫌ひあり、殊に近年の如く晩秋收穫に降雨雪の被害多く、これが防濕設備未だ整はざる現狀においては水分の規格に適當の融通性を設くる必要あり、即ち水分定量檢查の如き極めて微妙なる技術を要するものありては眞に紙一重の差にて特一等の品質のものと雖も直ちにこれを三等品に低下せらるゝことありかくては徒らに滿洲大豆の品質を低度に格付せしめ、國家的に多大の損害を與ふるのみならず、農民にも犧牲を拂はしむる結果となる、且つ國營檢查により大豆の品質向上の見地よりさきに五等級を削除せられたる關係より見るもこの點を特に考慮せられたし

本件はすでに賢明なる當局において適當に發令あるべきものと信ずるも念のため左の趣旨により制定せられたきこと

水分は表示をもつて限度とす

但し各等とも水分の〇・五%以內の超過は各袋規定量の〇・五%以上の增量により品質による等級に救濟せらる

二、黄大豆檢查標準中增量に關する件

大豆取引の實情において國營檢查合格品は殆ど混合保管に寄託せられ輸送、保管されざれば圓滑なる取引に支障を生ずべし、しかるに混合保管にありては出庫時における自然減量の免責條項あるをもつて增量と自然減量とは不可分關係にあり從つて增量により出庫時においての規定重量を確保する趣旨にて自然減量の免責が是正せらるゝに非ざれば本件の增量は首肯し難し

又增量の期間的關係においても實情に副はざる嫌ありこの點は更に事實に基き調査の上再檢討する必要ありなほ現在既に取引成立せる一月限以後の先物取引に對し增量の負擔を爲さしむる方法なく從つてその受渡に混亂を來し徒らに市場を刺戟せしむる結果となる以上の事に鑑み增量の實施は右の實情を精查せられ合理的解決方法を得らるゝまでこれが實施を延期せられたきこと

三、檢查料は凡て當分の內これを免除せられ度きこと

從來特産物に對し輸出稅、糧穀稅、製造稅等を徵收せられ居る關係上國營檢查によりさらに特産物に對し負擔を加重せしめざるやう諸稅の輕減が實現するまで輸出獎勵の趣旨にて檢查料は當分の間これを免除せられ度きこと

四、國內（關東州を含む）における油坊原料大豆に對しては國營檢查を省略せられ度きこと

國內油坊はその製品豆粕、豆油の移輸出には夫々檢查を實施せらるゝをもつて國內において消費せらるゝ原料に對しては檢查を省略せられ度し

倘古麻袋の利用は油坊經營上最も重要事項に屬し原料大豆の檢查省略により反復有利にこれを活用し得

五、毎年九、十月積出の日本向新穀に限り特殊大豆として輸出し得る辨法を講ぜられたきこと

新穀出廻初期においては概括的に水分過多なるをもつて水分規格上大部分不合格となる虞あり

而して日本內地においては含有水分の如何に拘らず走り大豆として食料用に特殊の需要あり

故にこれ等は格付により取引せられざる商習慣なるにより毎年九、十月出廻の新大豆は荷主の申出により特殊大豆として輸出し得る辨法を設けられたし

六、白眉大豆の檢查は正味及び風袋込とせられたきこと

今回發令の檢查法中白眉大豆は風袋込のみに限定されをれり、しかるに該品需要地方により風袋込又は正味等各地方的にその好みに應じ取引せらるゝ商習慣を有しこれが改正は差當り困難なり、故に六〇瓩入にありては風袋込又は正味の何れにても輸出し得ることにせられたきこと

七、不合格豆粕は特殊記號を附し輸出を認められたきこと

八、不合格豆油はその處置方法を研究し適當の施設をなすまでは特に輸出を認められたきこと

九、國營檢查實施前混保又は鐵道に寄託したるものにして國營檢查實施後輸出する場合においては國營檢查を要せずして輸出し得る過渡期の辨法を設けられたきこと

十、檢查の運用については取引の實情に鑑み當業者團體と協議し實施の圓滑を圖られたきこと

右の如くであるが、三團體よりは卅日附文書をもつて新京、哈爾濱、奉天、四平街、開原、鐵嶺、公主嶺、遼陽、安東、營口等十地方關係組合宛陳情の趣旨內容を通牒したが、代表三氏は新京にて當局への陳情を了へたる後沿線主要地に赴き各地當業者と國營檢查に關係ある事柄につき懇談を遂げる筈

敵重圍の中に四時間
部隊長護り血戰
遠藤〇〇〇〇隊美談

【鄭鄲三日發國通】敵軍圍の中にあつて數人の將兵が戰傷のため血まみれとなりながら部隊長を護つて前後四時間高粱畑の中で奮戰し遂に部隊長を安全に導いたといふ遠藤〇〇〇部隊の美談がある、一日聖旨を奉體して邯鄲の〇〇部隊を訪問した四手井侍從武官に詳細に報告されたことによつてはじめて勇敢無比なるその行動が明かにされた、去る九月二十一日遠藤部隊長は大柵河附近の敵陣地の攻擊のため十七名の斥候を率ゐて旱坊附近の陣地を偵察中午後四時頃附近の村落より敵の猛射を浴びた、この際急ぎ部隊に歸ることは不可能ではなかつたが一行の內に乘馬の下手な一通譯が鱧馬に乘つてゐたので、これを彈丸雨飛の中に置き去りにするに忍びず決然敵と對峙するに決し全員下馬、悲壯の邀擊體勢をとつた、この時遠藤部隊長の危險を思つて高田上等兵は右側よりぴたり部隊長を蔽ふやうに寄り添ひ、大塚上等兵と國友中尉は左側に添ひ銃火を交へる內、忽ちにして國友中尉は左上膊に貫通銃創を受け、高田上等兵は頭を射たれて即死し大塚上等兵また左眼を射たれ左腕に重傷を負ふた、この時傍で奮戰してゐた岩上大尉、江藤上等兵は自ら鐵帽を脫いで部隊長にかぶられんことを申出た、この時遠藤部隊長は軍刀を高くさしあげ

余の佩用せるは恩賜の軍刀なり、天裕必ずわれにあらん

と士氣を鼓舞し血路を開かんため突擊を命ずるや一彈は部隊長の眼鏡をとばし次の一彈は軍刀の鐔を切斷したが、身に寸傷をも負はなかつた、この時夕陽靜かに傾き高粱の影長くのびる畑の中を突擊また突擊遂に活路を開いたが、皆がクタクタに疲れて仕舞つたので一時畑の中に身を忍ばせて時を待つた、邊りが靜かになるとかすかではあるが畑の彼方に進擊の足音が聞える、友軍らしい、水永中尉が自分から進んで單身偵察に赴き遂にわが砲兵隊と連絡して四時間にして敵の重圍を脫出することが出來た、遠藤部隊長の報告に記された

本職生きてゐるは實に部下將兵の忠勇にして上官を思ふの衷情切なりし賜なり

との簡潔なる一言でこのときの情景を說明し得て餘りあるものといへよう

朝鮮火藥
日産二十瓲に擴張決定

【京城支局】日本火藥系朝鮮火藥製造會社では朝窒火藥會社の二十瓲能力に對應するためと經營上の經濟安定度を引上げる一方需要の著しく增大しつゝある鮮內の火藥界に善處するため倍額、即ち現在の許可能力日産十瓲を二十瓲に擴張すべく豫ねて總督府へ認可申請中の處附屬各種加工品の設備擴張と共に正式認可されるに至つたので愈よ第一期日産十瓲完成後直ちに着工することになつた、尙ほ朝窒火藥會社の日産十瓲擴張工事は其の後順調に推移してゐるので來年末迄には完成する模樣である

瓦房店の明治節

【瓦房店支局】天澄み渡り風もなく日本晴の朗かに錦なす山野、家庭に菊薫るこの日瓦房店市民は明治節を奉祝すべく午前八時半神社々頭に參集九時より國旗掲揚東方遙拜し天皇皇后兩陛下萬歲、日本帝國、滿洲國萬歲を各三唱して解散し、引續き小學校において拜賀式を擧行した

裝蹄自動車獻納

【京城支局】北支及び江南の戰地で皇軍將兵を扶けて無言の活躍を續けてゐる軍馬の裝蹄は戰場では最も難事とされてゐるが、朝鮮畜産關係者は今回裝蹄自動車を獻納する事に決定、過般來關係者で取纏め中の處一萬三千餘圓に達したので今回開催の朝鮮畜産報國大會を機會に手續きを執ることゝなつた

家庭

季節の醫學講座

罹り易い幼兒の病氣に就て

太田小兒科醫院 太田友安

肺炎 (2)

クルップ性肺炎

(母親)「クルップ」性肺炎とはどんな病氣ですか。

(醫師)「クルップ」性肺炎は突然に起る病氣です。寒氣がして高い熱が出て、劇しい病狀を呈しますが、七、八日で熱は分離し恢復します。カタル性肺炎と違つて咳は算へるくらゐで、たゞ呼吸の數が多くなり大層息苦しいのです。

(母親)「クルップ」性肺炎は子供の年齡にはよりませんか。

(醫師)誕生から下の子供には少ないで、多いのは三歳、四歳から上です。死亡も少く危險性も少ないのですが、「クルップ」性肺炎になると、後に肋膜炎を起すことがあります。其他膿胸とか膿胸なども起しやすいのです。「クルップ」性がこじれる場合は殆ど膿胸を起して失敗するようです。「クルップ」性肺炎は一週間位で熱が下るはずのものですが、その熱が分離せぬ場合にはすぐ膿胸を考へて處理をしないと、熱は完全に分離しません。

手當に就いて

(母親)肺炎の手當として「クルップ」性も「カタル」性も同じでよいのですか。

(醫師)違ひます。「クルップ」性肺炎の時は熱だけで咳も少なく、平氣の子供もあつて、濕布も何にも入りません。たゞ安靜第一にして分離させます。加答兒性肺炎は「一に看病二に藥」といふ諺の樣に母の看病一つで手當さへ上手にやればよくなります。

【イ】安靜

呼吸の數が五十、七十に增えてゐるといふ樣な場合でなければ肺炎になつてゐても遠距離の所でなければ入院させて構ひません。しかし肺炎の根本の療法は安靜にあるのですから第一に心身の安靜が最も大切であります。

【ロ】病室の溫度

室溫は六十度以上七十度が適度であります。室溫を保つには炭火が便利ですが、炭酸ガスや一酸化炭素を出して空氣を惡くするやうな缺點があります。

【ハ】換氣

近頃肺炎の場合には窓を開ける方法が盛んに問題されてる樣です。これは特にドイツでは十二、三年前から小兒科の方で認めてゐたし教科書にまで出てゐる開放療法なのですが、日本では實際に行はれることは少ないやうです。殊に滿洲の氣候、濕度、溫度の點など顧慮されて一般には行はれ難いやうです。一日の中一回若くは二回適度に換氣法を講ずることが必要と思ひます。病兒に直接風の當らぬやう、ゆるやかに換氣することが大切であります。

【ニ】濕氣

病室には適度の濕氣が必要です。殊に室溫を高める關係上、どうしても乾燥しますから湯氣を立てる必要があります。

【ホ】防塵

病室の掃除は箒ではかずに疊を拭いて貰ひたいもので す。日本間に寢台を入れゝば大變有利であります。尙病室に看護人以外の人が頻に出入することは、埃を立てる最大原因でよろしくありません。病室で煙草を吸ふことゝ共に愼まねばなりません。

(母親)……がよろしうございますか。

(醫師)呼吸困難の時とか、チアノーゼの時酸素吸入をかけて少しでも呼吸を容易にしてやらねばなりませんが、最初からかければ血液中の酸素の不足を補ひ、生活力を旺んにし、從つて免疫の構成にも有利なわけであります。吸入時注意することは必ずマスクを用ゐることであります。又吸入器のマスクは口から五寸以上離さぬ事です。

(母親)濕布はどんなものですか。

(醫師)芥子濕布はなかなかよく効きます。芥子は刺戟性の强いもので缺點は痛いことです。臭も子供の鼻につきますからなるべく早く注意してやらねばなりません。三分か五分で眞赤になる程度がよろしい。薄い芥子湯に布を浸して濕布する人もありますが、芥子を泥狀にしてすばやくすます方が有利だと思ひます。芥子をネルに泥狀にのばし、一枚ガーゼを敷いて胸と背部にあてます。濕布をすると濕布かぶれの出來ることがありますから充分皮膚を勞り、軟膏を用ひ、或はシッカロールなどを撒布しながら行ふことが大切であります。

(母親)肺炎の場合の吸入はどんな風にしたらよろしいでせう。

(醫師)咳のある場合は吸入をするわけですが、吸入で咳がなかなか止らぬことが多い。吸入無用論を唱へられてゐる一面もあります。

(母親)肺炎の場合の注射についてお伺ひ申します。

(醫師)注射は適宜に致します。强心劑を入れませんと子供は衰弱がはげしくなります。肺炎の時の醫師の手當はきまつたものばかりです。たゞ近頃キニーネの注射藥が推賞されて居ります。このキニーネの注射藥は時期を得ると肺炎を中途で止めた事は屡々あります。必ず効くとは申されませんが熱が下つて大變よくなつた例を見られるのであります。

食餌に就て

(母親)食餌についてお伺ひしたいと思ひます。

(醫師)子供に食慾のある場合には、さつぱりした粥か御飯でもよいと思ひます。肺炎の初期には減食がよいのですが、その時期が過ぎると、却つて澤山食べさせてよいのです。食慾の少ないのは惡くなる心配があります。肺炎の一番嫌なのは鼓腸を起した場合です。又肺炎に中耳炎が併發して、それで子供に食慾のなくなつてゐる場合もあります。耳を開けて膿をとると元氣になり食慾も進んで來ることになります。

乳兒肺炎に就て

(母親)乳兒肺炎について何にか聞かせて下さい。

(醫師)肺炎でも乳兒になると又特別です。熱もなく、咳も出ないで肺炎がひどくなるといふやうなことも度々あります。そして乳を飲まないことがあります。乳兒は氣管枝加答兒がいつの間にか肺炎になり、無熱性肺炎に進んでることがあります。乳兒のみとは限りませんが幼い子供程特に注意すべきは、肺炎から腦膜炎を起すことです。痲疹でも腦膜炎となることがあり、輕度で幸ひ癒ることがあつても、後に頭が惡くなつたりします。肺炎は十一月半頃から多くなり、一月、二月が一番多く、四月頃からまた減つて來ます。急性肺炎の方は冬は少く、春先から多くなります。

(母親)どんな肺炎が危險ですか。

(醫師)次の樣な症狀を呈した場合は、危險と見て、注意を要します。

(一)意識不明瞭にて、腦症を起し、齒ぎしりをし、譫語を發し、物を吐く時。
(二)呼吸困難の著しいもの
(三)呻り聲のあるもの。
(四)四十度以上の高熱のつゞく時、反對に異常に低溫なる時。
(五)脈の非常に多いもの、細いもの、脈に力のないもの。
(六)舌の乾燥著しく、舌苔の甚しいもの。
(七)脣が紫色に變つてゐるもの。
(八)食慾不振の甚しいもの
(九)幼兒では腹部に鼓腸あるもの。
(十)尿量の非常に少ないもの、不眠の甚だしいもの、流行が惡性のとき。

肺炎の豫後は槪して心臟の强弱に比例して良不良があります。(了)

本紙特約連載漫畫 ガラムシやおピー 倉金良行

カアサン カワニ センタクニ オテツダイ シマショ
オヤマア アメガ フラネバ イイガネ
サ カタク シボッテ オクレ
サカナヤ ノトラチャンヲ コロバシタトキ クライノ チカラデ イイカナ
コレ コレ ソンナニ チカラ イレンデモ
ウーン ウン
ブルッ ブルッ
アレー コリガ モドッテ ヒャーッ

家庭燃料講座

石炭の焚き方 (續)

日滿商事燃料相談部

ストーブの焚方

溫水罐の焚き方、取扱方は其の位に燃して置きまして最後に第三の貯炭式燃燒爐即主としてストーブ類の焚き方でありますが、是は別段焚き方として説明する程の事は全くない樣であります。たゞ特に氣付いた點を二、三申上げますと、貯炭式ストーブの焚き付方ですが、最初新聞や薪を入れ其上に石炭を相當量詰め終つてから下から別に新聞に火をつけて挿込む樣にして點火した方が大體に於て具合がよい樣です。又焚き付てから無暗に火格子を動かせない樣にする事は今迄に二、三回申ました通りです。次に貯炭筒の中に石炭を繼ぎ足す時いきなり蓋を開けると動もすれば瓦斯が出てひどい目に遭ふことがありますから、少し宛開ける樣心懸けられたいと思ひます。

以上極めて大雜把乍ら大體石炭の焚方に就て申上げました。尙詳しくは當相談部附屬の假實驗室まで御足勞願ひますれば、當分の間午後一時から三時まで係員が實地に就て御説明申上げます。(場所は關東軍司令部廳舍筋向ひ大興ビル裏)

石炭を求める時

最後に石炭を御求めになるに就て少し御願ひ旁々御注意申したいことを書き並べますと

一、石炭の註文は成る可く早目に御願ひします。寒い折には註文が殺到して如何に鞭撻努力しましても送り屆けに三、四日の時日要しますから、少くとも御手持の石炭に三、四日のゆとりを見て早目に御註文願ひます。

二、石炭が到着しましたら御面倒でも袋數(一瓲は十六袋です)及品質を御改めの上御受取願ひます。尙品物に就て御不審の事がありました時は成る可く早目に御知らせ願ひます。

三、馬車夫に不行屆の點がありましたら即刻御申聞け下さい、日が經ちますとわかりにくゝなり取調べがつかなくなります。

四、一般に馬車夫は字の讀めないものが多く送狀の字と表札の字を形で照し合せて御屆けするものが多いのですから、表札は名刺に願ひます。名刺を貼つてある處に夕方など送り屆けする場合など全く「馬車夫泣かせ」です。

五、大體御註文の翌日乃至翌々日位には配達されるのですから、若し留守をされる樣な場合には鍵と印鑑、又は現金を隣にでも御預け置き願ひますれば好都合です。尙豫め電話にて御一報願へば御在宅を見計つて御屆け致します。

六、石炭は當社指定販賣店又は組合の市內販賣所に御註文願ひますれば、品質、斤量其他御安心願へることゝ存じます。(完)

晩秋から目立って 肌は荒れ易い

そこで、美しいお化粧法は?

寒くなると、顏や手先がアレ易いと云ふことは誰にでも判りきつたことですが、もう一歩進んで、何故冬には特別荒れるのかその科學的な理由を皆樣は御存じでせうか。

冷たい外氣と體溫

人間は健康を保つためには先づ一年中同じ溫度の體溫を保たねばなりません。ところが冬になると外氣が非常に冷たくなりますので皮膚面、殊に外氣に直接觸れる顏、頸筋、手先等は一番强く冷氣を受けます。併し體內の溫度はいつも同じ溫度に維持しなければならないため、顏や手先の血管はできるだけ奧へ奧へ逃げ込んでしまひます。その結果は皮膚のはたらきがぐつと衰へ從つて汗や脂肪の分泌が非常に減るので、當然皮膚がガサガサしてきます。

空氣の乾燥と脂肪

次に、冬は濕度が非常に低く空氣が乾いてゐますから勢ひ皮膚も乾いて來ます。第三には、火鉢やガスストーブ等の火氣にあたるので、益々顏や手足の水分を脂肪は奪はれ易くなります。以上の通り生理的にも分泌が減つて來る上に更に外部的にもとられるので皮膚面は常に脂肪や水分に乏しくアレ易い狀態となります。

暑さ寒さと化粧法

ですから、寒くなればなる程缺乏する脂肪分は外部からコールドクリームなり、スキンオイル等で適宜に補はなければなりません。そのためには夜寢る時に充分の脂肪分を塗つておくことも必要ですが、尙ほそのほかに晝間のお化粧料の選び方に注意して頂きたいと思ひます。何故なら、外出時には一番冷たい外氣にふれて皮膚を乾燥させ易いのですから、特別脂肪分を與へて豫防することが必要なのです。その點から一般の婦人はお化粧の下地のこしらへ方を四季によつてお變へにならねばなりません。で多はなるべく脂肪性の化粧下を用ひて頂きたい—例へばアレ性の人ならばコールドクリーム等を、脂肪性の人でアルコール分の强いアストリンゼント等を使つていらしつた人ももつと柔かい植物性のやうな化粧水を用ひてできるだけ皮膚の乾燥を防いでおかねばなりません。

ラヂオ

けふの番組

〔M・T・C・Y 新京放送局〕五日(金曜日)

朝

六、五五 ニュース(東京)
七、〇〇 ラヂオ體操・入港船のお知らせ(大連)
七、二〇 初等滿洲語講座 講師 秩父固太郎
七、四五 朝の音樂
八、二〇 氣象通報
八、四五 建國體操
九、〇五 經濟市況(東京)
九、三〇 經濟市況(東京)
一〇、〇〇 滿洲國治外法權撤廢日滿兩國代表調印式實況=滿洲帝國國務院講堂式場より中繼=
一一、〇〇 經濟市況(大連・新京)
一一、三五 上森アナウンサー
一一、四〇 經濟市況(大連)
一一、五九 時報(東京)
〇、〇一 晝の演藝(奉天)

晝

一、和洋合奏 放送和洋合奏團
二、小鍛冶
三、秋の色種
老松

〇、三〇 ニュース(東京・新京)
一、〇〇 經濟市況(大連・新京)
三、〇〇 經濟市況(大連・新京)
三、四〇 經濟市況(東京)
四、〇〇 ニュース・氣象通報(新京)
四、四〇 經濟市況(大連・新京)
五、二〇 ニュース 修養講話(鮮語) 孝行 金榮培(鮮語)

夜

六、〇〇 子供の時間(大連) 行進曲と吹奏樂 大連實業學校ブラスバンド 指揮 池田貞雄
一、關東軍の歌
二、進軍
三、君ケ代行進曲
四、スペアミント
五、陸軍の歌
六、二〇 コドモの新聞(東京) 村岡花子
六、二五 講演(奉天)
七、〇〇 ニュース(東京) ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
七、三〇 講演 治外法權撤廢調印に當りて 駐滿大使館參事官 澤田廉三
八、〇〇 聲色(東京) 吹き寄せ 柳亭春樂
八、二〇 浪花節連夜二題「第二夜」唄枕親子旅(東京) 原嚴・作 春日井梅鶯
九、〇〇 時事解說(東京)
九、二九 時報・ニュース・ニュース解說(東京)・ニュース・氣象通報・告知事項・番組豫告(新京)
一〇、二〇 ニュース再放送 アナウンサー 野村、上森

治外法權撤廢

日滿代表調印式實況 〔前一〇・〇〇〕

國務院講堂式場より中繼

大日本帝國は 對滿國策の根本方針に基き康德二年八月九日の閣議に於て治外法權撤廢、滿鐵附屬地行政權の調整及び移讓を斷行することに決し昨康德三年六月十五日滿洲國に於る日本國臣民の居住及び滿洲國の課稅等に關する日本國、滿洲國間に條約が締結され日本國人は租稅法規及び主要產業法規の適用を受くることゝなつたのである。今回は更に本日の調印を以つて領事裁判權、警察權その他に亘り之が全面的撤廢を見ると共に附屬地行政權の移讓を見るに至つたのである。短時日間に斯る劃期的事業の成就を見ましたのは友邦日本帝國の大乘的好意に依るは勿論關係日滿機關の捨身の努力に依ること甚大で洵に國民的感激を覺ゆる次第である。

故に本日こそ 日滿兩國に取りては正に一大歷史的の行事といふべく放送局もこの實況を細大洩らさず充分の時間を利用し內地全國は勿論、直接享受する滿洲全國Ⅱつこの輝かしき破天荒の模樣を海外にも放送し光輝ある滿洲國の實情を知悉せしむることになつた。

劃期的の調印 實況又は兩國代表の挨拶又は聲明書は勿論、式後の模樣をマイクロホンの全精能を使驅して聽取者に對し居ながらにして調印式に列席せしむる感を與へるものと期待されるものである。

廣告文案論（二）

滿洲映畫協會宣傳課　山下明

斯の如く廣告が文化的に人々の社會生活に寄與する所大であると同時に、反面之を廣告主の側より一個の企業家の立場として觀るならば自らその趣を異にしてくる。即ち新聞雜誌に於ては當然他の多くの廣告主の廣告と競爭的立場に置かれることゝなり、玆に於て其等他廣告を拔きんじて人々により強く迫りより大なる廣告効果を擧げんには如何にすべきかゞ重大なる問題となつてくる。以下に論ぜんとするはこの點に關する廣告文案の研究である。

一般的に廣告文案作成に關する注意要點は、（1）明瞭、平易、簡潔なることーー廣告文案は結局商品販賣を目的とするものであつて、決して詩歌、小說ではない。徒らに自己の文才に委せ、或は主觀的、高蹈的に陷り、冗張な美辭麗句を以て表現すべき性質のものではなく、要點のみに限りしかも平明にして、單純に敍述すること。（2）正確なること。ーー廣告文案は一言一句文法學者のいふ嚴格なる法則に拘束される必要はないが、一般的なる標準語を以てすべく、不正確、曖昧なるものは讀者に不快の感を與へるを以て避くべきである。又その種別は、

（1）作者に依る區別より
イ、廣告者自らの文　ロ、社會人の言葉としての文　ハ、權威者の研究發表としての文

（2）說明方法に依る區別より
イ、正面より說く文　ロ、暗示的に說く文　ハ、裏面より說く文

（3）文體に依る區別より
イ、記事的　ロ、論理的　ハ、對話的　ニ、物語的　ホ、命令的　ヘ、質問的　ト、說明的　チ、詩的等とされてゐる。

然し乍ら之等修辭的の問題は寧ろ第二次的の問題に屬し廣告文案研究に當つての最重要な根幹の問題は、市場、商品、人性（心理）等の文案の背後に在りて之を決定する諸問題である。以下之等について順次解說を試みやう。

一、市場研究

第一に考ふべきことは自己の廣告を展開すべき消費者の居住地帶範圍に於ける調査であつて

（1）教育の發達程度ー學校及生徒總數、男女別、學校別

（2）市、町、村の分布狀態ーーその各數及び所在地。特殊的な思想團體及宗敎團體の有無

（3）人口數ー世帶數、男女別、生活樣式、都市、地方別人口

（4）交通々信狀態ー鐵路、海路、自動車路の狀態、電信、電話、ラヂオ、郵便等に對する設備普及の程度

（5）文化の程度ーーその國に於ける最上文化都市との比較研究、一般知識程度及特殊的傾向の有無

（6）富力程度ーー產業狀態より或は所得稅納入額自動車數、銀行數、銀行預金高等よりする購買力程度の調査

（7）地方色ーー生活樣式上の特殊點、地方人情、風俗習慣の調査、地方商取引上の習慣、嗜好、祭月日等

はその主なるものであり、之に依つて例へば敎育、文化の發達程度の高き地方への廣告文案と低き地方への廣告文案とに適宜に相違あらしめることが出來る。（未完）

民衆娯樂親話會

（四）新興娯樂の供給

杉村　曲さん一つ實際の民衆に接してゐらつしやるから

曲　民衆の傳統的な娯樂は祝日のほかにやるのは芝居、紙芝居等ですが、上級階級の者は映畫芝居を見ます、芝居に二つあるが評書と上品でないのと、併し研究しない人は芝居には行きません、下層者は紙芝居、影芝居、洛子等を見ます、錦州の町に近い部落に行きますと、よく說書をやつてゐます、改善するならば一番民衆の喜ぶものから手を入れなくちや、例へば一人でやる說書ですが、これは三國誌とか馬賊とかゞ多いので改良すべきです、次に紙芝居の繪は支那革命戰爭の繪とか上海の何々馬路とか天津の町などで新京などのはありません、それで新興滿洲のを描いて送つてやるがいゝ、それから芝居の下品な洛子は迷信が多く下級勞働者が入ります、舊政權時代には禁じてゐて改良戲曲を作つてやつてゐました、殊に今は舊政權と違ふのだから社會敎育上からも考へなくちやなりません、苦力でも三國誌の有名た人名は皆知つてゐますが、これはかういつたのから見て知つてゐるので、この點を考へて研究すべきで、この研究は吾等素人だけでは駄目です、商賣人をいれて唄の調子やなにか、それでいゝか惡いか、やれるかどうか聞いてやらなくちや駄目です

坪井　娯樂は樂しませればいいんだから少し位ゐ風俗に變なのがあつてもいゝぢやありませんか

曲　社會敎育は學校とこの方だから

坪井　見なけれやいくらいゝものでも仕樣がないぢやないですか

曲　それでいゝものを書いて覺えさします

奥村　榮さんのお話でセントを得ましたがお盆ですな、吉林で三、四萬の燈籠か出る、この話が一昨年でしたか總局の人から旅客誘致のために話がありましたが、これを總局としては大々的にやる筈で、ぜひ協和會さんも一つ力を入れて下さつたら大石橋の娘娘祭以上にやる相ですから、それからその次にやはり集團的な行事の訓練時代になつて來たのでこの方面と娯樂と結びつけ、清明節の前後、日滿人が揃つてピクニックをする秋の登高九月九日の節には、日本人も一緒に集團行動の訓練をする、日滿人が共同的な集團行動に娯樂をいれてやるのはまだなかつたと思ひますが

板垣　糞押付にならぬやうに

坪井　どうも滿洲の行事は堅苦しくて演說ばかりでピンとこない、偉い人はいゝだらうが

板垣　建國祭でも、何もかも忘れ町をあげて喜びあふれる日が一年に一回あつていい、それで各縣の縣人會もその日に一緒にやつたら、別々にやるのをやめて

藤山　どんたくみたいんですな、馬鹿騷ぎをやる

米良　あまり社會敎化に重きを置くとかすになる、紙一重越すと風俗壞亂になるがそのところまで行つても、危くないだけの民衆娯樂の訓練をしなくちやいけませんね

板垣　盆踊りの禁を解かなければや、文部省で盆踊りの代りにつくつたのは流行らなかつた

坪井　電々のこの間の寫眞はとても喜んで見てる相です

長谷川　そこで民衆娯樂の定義が板垣さんから出ましたが、映畫は映畫協會でやるから殘るのは演劇と他の民衆娯樂で、だから映畫と演劇を除いたものを民衆娯樂としていゝと思ひます、そこで將來これをどう取扱ふべきか、改良するものと新作するものと、政策的には二つて出來ます、併し自分で樂しむのと、與へられて樂しむのと二つありますが今まで述べられた中で他から與へられるのは野台劇だとか蒙古の角力、喇嘛踊とか狩獵、紙芝居等であるが大衆的に吾々が內地式に考へると豐年祭や盆踊りのやうに高脚踊など自分でやれる、で筋書など當分の間どこかで作つて與へなくちやなりません、それは民生部社會司で即ちこゝらでならなくちや、渾詞をきかす人にはその筋書をつくつてやるとか考へなくちや、それでこれを取扱ふ機關は民生部より他にはないのです、放送局であつかふのは放送出來るものだけで本當の娯樂全部をあつかふことは出來ません、話にきけばこれについては民生部で相當骨折つてゐられる相ですから結構なことですが、實行機關は各官廳、協和會本部等で筋書が出來ればあとは農村の役場、協和會等機關はあるから、大衆に及ぼす感化、指導してゆく立場から一日も早く民衆を指導するに、これらを使ふ機關を作つて欲しいものです

眞殿　滿人のための民衆娯樂になるでせうが、も一つ、晉を喜ばすため、新京にもお祭や式典はあるが東京の招魂祭にいろ／＼の見世物が出るのと同じで、嚴肅な日にも城內から野台店が出て來て見世物もある、豚の肉も賣つてゐる、といふ風にし向けてくれたら

長谷川　娘々祭がさうなつてゐますが

眞殿　新京でそれをやつて貰いたいので……あまり嚴肅すぎて……滿人が皆な集つて一日喜ぶ樣に考へてやつてくれたら

杉村　今度でも北京で天安門といふ宮殿の中の廣場でそんなことをやつたが非常にみな喜んで賑かだつたと新聞にも出てゐます

眞殿　城內には日本人もあまりゆかないが大同公園あたりでそれをやれば日滿親善にもなります（つゞく）

夏の歌より（一）

三井實雄

たちまちに日は見えずなり雨前の雲の流るる物々しけれ

たちまちに日はおしかくし雨雲の湧きあがる見えて午後のけだるさ

夏帽の庇おさへて急ぐなり雨降るとして風強く野邊を

日はくもり雷さへも轟ろきて此の國原に雨ふらんとす

國原は俄かにくもり吹く風の冷めたきは遠く雨の降るらし

音立てて雨は降りつつたちまちにやむ氣配して日の照り出しぬ

音立てて雨は降りつつ片面日は照れるなり此の國原に

國原に遠雷の轟ろけばたちまちにして溜たゝく雨

あつきとてこれ位のことなんのその匪賊を逐へる人を思へや

暑さなど物かは親子五人にて生きゆくことを思ひみるべし

雁列を仰ぐ

栂木一良

雨晴れの青空たかく通る懷かしいこゑごゑ
ぐわん、ぐわん
その長き旨より奏す秋の曲
蕃殖を終へ若い翼さの一族を連れ
羽交ひにいまは迫りくる冷氣を感じ
傳はる自然の本能の示す彼方へ
家並の空は高く群れ
人目につかぬ上空に翼を鳴らし
疲れをいとはぬ遠い旅
先達につき一本の竿になり
鍵になり風を切り
みよ　みよ
一にWにくに
常に形態を變化し
遠く　遠くー
飛翔し去る
雁　雁　雁
雁　雁
雁

聖夜

萎曲　遠藤美津男

城門の中灯影妖しく映り黑き煉瓦屛に圍まるる中に蓮など飾り小鬼戲る室にすかれた木造の寢臺置かれ腹這ひになり幼き嬌ひ翔ふるへん更紗の張子奪ひ黃金糸ぬひとりし祇蕚ひ呟惑もつれひかる眸戲き空しくうち振る紅き屛に觸れるものものゝすがた幽かにまさぐるぬれた肌碎く呟き掌を開きすぼめ血相撃ち乳房疼くを覺え

書架

月蝕も泣く處女の頁切る

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△滿洲評論（十月三十日號）清瀨八郎「戰時內閣への道」ほか四つの時評と情報その他を收錄してゐる（大連市大廣場東拓ビル、滿洲評論社、十五錢）

△斯民（十一月一日號）日滿軍の演習、日本海軍の威容、甘珠爾廟會、事變情勢等の寫眞と各方面の記事を揭載（新京北安路、滿洲國通信社、半年九角）

△金融經濟月報（九月）

△滿洲物價勞銀調（八月）

△滿洲物價年報（康德三年度）以上三種滿洲中央銀行の調査刊行物（滿洲中央銀行調査課）

眼の過勞は視力低下の最大原因だ！

● 醫學博士 中村榮・仁藤隆作・兩先生 推奬

眼疾を防ぎ視力を護る

スマイル

眼疾の治療と豫防！視力の明朗化

スマイルは眼科藥として最新鋭を誇るもの、その快適なる治療作用は、結膜炎、角膜炎、トラホーム、眼精疲勞等の眼疾に奏効して着々と眼内異狀を去ります。眼の疲勞充血を恢復する作用が優れ、又視力を明快にして、視覺的能率を向上せしめます。點眼感頗る爽快にして無刺戟、些かも副作用がありません。近代人の視力保全に眞に好適の眼科藥であります。

間斷なく酷使される眼には適切な處置が必要

近代人の視力が低下しつゝあることは嚴然たる事實です。而もその原因が眼の極端な疲勞にあることは既に專門醫家の指摘する處であります。

事務室に 研究室に 工場に 教室に於て休養の暇もなく酷使される眼に對しては、それ〴〵適切な健眼工作を必要としますが、その最も簡便有効な方法として推奬されるのが疲勞恢復に効ある眼科藥スマイルの活用であります。スマイルはその獨自の消炎及び收斂作用によつて、眼の過勞による炎症及び充血を消退し、眼の疲勞を恢復せしめ、同時に視神經の異常昂奮を鎭めて、視力を明快ならしめます。眼疾の治療と豫防に効あるは勿論言を俟つ迄もありません！

(定價) 二十五錢・四十五錢・藥店百貨店藥品部にあり

總代理店 株式會社 玉置商店 東京市日本橋區本町 大阪市東區瓦町

治外法權撤廢記念 日滿交驩演説會
協和會國民使節訪日を機に 東京、大阪兩市で開催

協和會が治外法權撤廢條約締結を機に五族代表より成る國民使節を日本に派遣することは既報の如くであるがその日程は次の通り決定した、なほ露系代表一名は濱江省居住の辯護士ワシーリ・トードロウイッチ・イワノフ氏に決定した

十一月六日午前八時新京出發朝鮮經由で八日午後東京着、十三日迄東京に滯在十四日名古屋に向ひ十五日二見ヶ浦に至つて十六日伊勢神宮に參拜十七日奈良を視察して京都に着き十八日同地滯在、十九日大阪に向ひ二十日も同地滯在二十一日神戸を視察し二十二日宮島を見二十三日朝下關を經て門司に到り正午奉天丸に乘船、二十五日大連に着き同日午後八時四十分新京に歸着する

なほ一行は東京及び大阪に於いて治外法權撤廢記念日滿交驩大演說會を開催し日本國民に對する感謝文の發表を行ふとゝもに各使節起つて日本國民への謝意を表するとゝもに日本國民の滿洲國民に對する信賴及び協和會精神を說くことゝなつてゐる、なほこれには日本民間名士の參加をも求める筈である

血判の從軍嘆願
母校燒くの報に心情痛々し
東亞同文書院學生 關東軍へ屆く

今次事變に際して校舍が上海前線の戰火の巷に有る爲止むなく長崎市櫻馬場町に移つた東亞同文書院の第四學年生から連名血判の痕も生々しい從軍嘆願書が今回植田關東軍司令官のもとへ屆いた、右四年生は事變發生當時は來るべき時代建設の意氣に燃へて同書院の特殊使命たる北は滿蘇國境より內蒙古全支那を經て南は南岸に至る旅行中であつて事變發生の報を聞くと直に東亞同文會を通じて從軍を希望したが歸國するや陸軍省の通譯試驗に應じ何れも合格、前線從軍の日今や遲しと待つてゐた、然るに其の後何等通報無く、毎日歡呼の聲に送られて出動する勇士の姿を見るにつれて我慢し切れず、遂に一同七十一名は連署血判して遠く關東軍司令官宛送付してきたのである、軍當局はこの決意に感激して何等かの從軍方法が無いかと研究してゐたが三日上海戰線支那の敗殘兵の爲東亞同文書院燒くとの報來るや、此の報を聞く學生の心情を思ひ此の熱意に報ひるべく調査に努めてゐる、右從軍嘆願書は支那事變の意義より說き起した非常に長文にわたるものであつてその一部は次の如くである

（前略）生等は東亞同文書院の學生たりそも／＼我が東亞同文書院は明治三十四年東亞先覺の志士近衞篤麿、荒尾精、根津一の三大偉人の創立にかゝる帝國の大陸政策における第一線の指導者として立つべき高潔人格の志士養成の學校なり生等四年生一同は事變勃發するや從軍報國の決意にて第一線にて義勇奉公出動の日を一日も早かれと鶴首念願致居候へどもまだ從軍出動の命令を受けざることは甚だ殘念至極と存居候一刻も早く從軍せざらんか生等何の顏ありて先輩父兄同胞にまみえんや假ひ學生にては通譯不適當なる時は生等退學手續をとり從軍致す覺悟に御座候（後略）

協和行進歌の普及に 合唱練習放送
八日夜は〃協和の夕べ〃開催

協和會ではさきに協和行進歌をつくり先般の混聲合唱團演奏會の際これが披露を行つたが更にその普及を圖るため新京放送局に依賴し明六日並びに七日の兩夜、午後六時から二十分間右行進歌の練習を放送することとなつた、その指導は新京中學校の細田透氏が擔當する、なほ八日は午後七時半から八時四十分まで特輯プロ「民族協和の夕べ」を編輯し、古海指導部長の「非常時局と民族協和」と題する講演、協和行進歌の合唱―これは日語合唱、滿語合唱並びに日滿兩語齊唱の三種に分けて行ふ―及びラヂオ・ドラマ板垣守正氏作「勇士涙あり」（大同劇團出演）等をマイクにのせる筈である

三上等兵の 慰靈祭執行

新京警備隊金久保春歩兵上等兵の遺骨は二日午後三時凱旋した、先着の山田小五郎、川上勇吉兩歩兵上等兵の遺骨と共に三體の慰靈祭は五日午後三時より同隊に於て行はれる

滿鐵各學校の 衛生婦會議

五日午前九時半から新京白菊小學校で滿鐵衛生課の司會の下に滿鐵學校衛生婦會議を催す、參加者は滿鐵衛生課長外課員數名、專務校醫九名、衛生婦七十一名（國線九校を含む）在京學校長十四名等約百名で行事は指示事項、協議事項、研究發表、終つて忠靈塔參拜並に各方面を見學

須永大佐夫妻の部隊葬執行

【奉天國通】去る十月卅一日不慮の最後を遂げた須永大佐夫妻の部隊葬は四日午後二時より須永部隊において在奉日滿官民多數參列の下に執行されたが、式場には大佐生前の武勳を物語る數々の供物が所せましまでに安置され、しめやかな裡にも盛大であつた

滿鐵の大詔渙發記念 本年行事盛大に擧行
十日中心に全國民に呼掛く

〃國家興隆の本は國民精神の作興に在り〃と宣はせ給へる國民精神作興詔書を渙發せられてより既に十四年滿鐵では昭和八年大詔渙發十周年を記念して精神作興週間を設け公共奉仕、盡忠報國の實踐をなし來つたが本年は特に國民精神總動員の秋でもあり社員のみならず各種團體と相呼應して全國民に徹底させることになつた、大體の案としては十一月十日を中心として一週間行事は大詔渙發記念式典擧行神社參拜デー、講演並時局映畫會、健康增進デー（早起獎勵、徒歩獎勵、ハイキング）國產愛用獎勵デー、無酒デー、無煙デー等の實施で細部に關しては近く各關係者を集めて打合せのうへ決定する筈である

下に滿鐵學校衛生婦會議を催す

戰況上奏のため
巴興安警備軍司令官入京

興安〇省警備司令官巴特馬拉佈垣中將、國長秦煥章少校、顧問金川中佐は今次事變に當り皇軍に協力、山西省において赫々たる武勳を樹てた滿洲國軍の戰況上奏のため四日午後六時廿分新京驛着列車で入京した、驛頭には于治安部大臣、濱田次長、平林岩高顧問甘粕正彥氏外軍關係者、國務院、國婦等各團體幹部多數出迎へ軍樂隊の勇壯なる歡迎マーチあり、非常な賑ひを呈した、なほ巴中將等は五日午前十時二十分參內し、十時半皇帝陛下に拜謁仰せつけられ、軍狀を上奏するはずで、四日夜は于治安部大臣、五日には植田關東軍司令官の招宴がある【寫眞は驛頭于治安部大臣と挨拶する巴中將】

大陸文化の大工場 滿映スタヂオ設計成る
康德六年七月竣工豫定

滿洲映畫協會は國都新京の南黃龍公園に續く丘陵地に敷地五萬坪を求め此處を樂土建設を目指す滿洲映畫將來の製作のため一大撮影所建設の地と定め豫てスタヂオ建設委員會の議を經て諸般の建設準備を進めて來たが、此の程漸く關東軍經理部に於て其設計を完了したので、右工事に對し去月二十七日國都建築土木界の一流業者を集め入札を行つた結果、清水組に落札、直ちに着工の運びとなつた、スタヂオは總建坪數一五、一八〇平方米、設計は總て各國スタヂオの長を採り短を捨て、更に滿洲國獨自の風土的條件を加味した世界に冠たる撮影所たらしむべく、施設外觀共に完璧を企圖したものであるが、二年後の康德六年七月之が竣工の曉には我が國文化第一線に立つ燦たる大陸文化の工場として、來るべき國都の大玄關を約束さるゝ南新京驛の東南方に、コルビュジエ以後の明朗健實な現代様式の偉容を誇ることにならう、其の淡琥珀色の堂々たる建造物が大空に映ゆる眺めは、其處に豫定されるスタヂオ街と共に、新京名所の一つとして期待されてゐる、建築物の主なるものは左の通である【寫眞は設計圖】

營業室　鐵筋コンクリート及煉瓦造一部三階建一棟、製作事務室　同二階建一棟、特殊撮影室　同同一棟、錄音室其他　同同一棟、ダビングルーム　同一部三階建一棟、大講堂　同平家建一棟、現像室及俳優室　同二階建一棟、大スタヂオ　同平家建一棟、小スタヂオ　同同二棟、自動車庫　同同一棟、大道具室　煉瓦造平家建二棟、汽罐室同同一棟

滿洲不動產電話

一日から滿鐵新京支社內に店開きした滿洲不動產株式會社新京支社の電話番號は左の通り決定した
△支店長足立三郎（元庶務課庶務係）分室公三一六〇九四
△事務室（地方係室）公三一四九九八

昨夜 鐵道北の大火
小松製材所工場全燒

四日午後九時十五分頃新京鐵道北住吉町二丁目十二小松製材所小松兼松氏製材工場電氣室から發火、急報に接して馳けつけた在京部隊の一部滿鐵消防隊、滿洲國消防隊、新京署、滿洲國側警察署、新市街憲兵隊新京附屬地防護團第一分團、寛城子防護團、京商生徒等直ちに非常線を張り必死消火につとめたが水利の便惡しきため作業意の如くならず火焔は忽ち建坪二百餘坪の工場と製品を一なめにし隣接の無限製材株式會社新京出張所製品置場に延燒し製品見積約十萬圓を燒失して午後十一時頃漸く鎭火した、損害見積價格小松製材所七萬圓無限製材十萬圓合計十七萬圓原因は漏電と見られてゐる、なほ附近には製材工場並に製粉工場發電所等の工場櫛比し新京驛にも近く一時は危ぶまれたが出動機關の必死の活動により人畜に傷害なく最少限度に喰ひ止めたことは不幸中の幸であつた【寫眞は炎燒中の小松製材所】

涙ぐましい友情
商業生徒消火に活躍

鐵道北小松製材所の火災は近來稀に見る大火であり附近は重要な工場地帶のため在京部隊の一部を始め憲警防護團等出動し必死の活動をなしたが中でも一きは人目を引いたのは京商生徒の華々しい活躍であつた、小松氏の令息繁夫君の同僚京商五年生約三十名は小松製材所火事の報を聞くや卷ゲートル姿で現場に馳けつけ〃小松大變だなあ心配するなしつかりせ〃と繁夫君を激勵直ちに鈎力鑵をもつて井水を運搬猛火の中に飛び込み全身濡れ鼠となつて消火につとめたがその甲斐／＼しい活動と涙ぐましい友情は人々を感涙にむせばせた

漏電か
小松氏語る

最近稀に見る災禍にあつた小松製材所主小松兼松氏はとんだ人騷がせをして誠に申譯けないと冒頭して發火の状況につき左の如く語つた

電氣時計が丁度九時十五分で停つてゐるから發火時間は九時十五分頃であらう、工場指導員の松井が發見直ちに準備してあつた消火器を二發打つたが更に效なく消防隊が駈けつけるまでには既に工場一面の火の海で手の施しやうがなかつた、幸に製品は殆んどストックがなかつたので損害は割合に少くて濟んだが他人に損害を及ぼしたことは何とも申譯ない、原因についてはいろ／＼調べて見たが仕事は六時頃終へてゐるので工場に火が殘つてゐる筈はなくどうも電氣室の高壓線からの漏電らしく思はれる

壯行會打合

陸に海に將た空に今次事變勃發以來我皇軍の目ざましき活躍は世界驚異の的となつてゐるが皇軍の華陸軍に入隊する壯丁は其の日の來るを待ちかねてゐる、新京から入營する本年の壯丁は總領事館及び新京署管內を合せて約五百名に上る豫定であるが滿鐵支社地方課では同壯丁の行を壯んにするため恒例により近く壯行會を催すこととなりこれが打合せ會議を六日午後一時から支社會議室で開催する

特別市々公署 地鎭祭執行

特別市公署が國建に移轉のため西側に工費約三十五萬圓をもつて增築の[illegible]地鎭祭は四日午後三時より關屋副市長その他關係者多數出席のもとに執行せられたが、辰村組の手に依つて直ちに着工される筈である【寫眞は地鎭祭】

日本社會事業 視察團來京

劉吉林省行政科長を團長とする中央社會事業聯合會主催の日本社會事業視察團一行九名は十月十四日新京を出發、三週間に亙つて東京、大阪、京都名古屋を中心に進歩せる日本の社會施設萬般に亙つて視察の後四日午後十時着列車で朝鮮經由來京した、五日は日滿軍人會館で同視察團を中心に民生部社會司關係者が參集座談會を開催することとなつた

原事務官來京

治外法權撤廢及び移讓の調印式に參列の爲對滿事務局事務官原幸夫、小澤成一兩氏は四日午後六時二十分あじあにて來京した

頭道溝郵局長 更迭挨拶

新京頭道溝郵局長新谷寶弍氏は今回哈爾濱郵政管理局儲金課長に榮轉に決し後任頭道溝郵局長北村勝氏と四日更任挨拶に來社した

ブレンソング

人間といふものは人から「かれこれ」と言はれると氣になるものか最近の心當りを左に二、三紹介する▼警務司の管警務科長は「六尺男にマバラ鬚、鹽と胡椒でウンと揉め」と言はれて口惜しかつたのか恥しかつたのか折角のヒゲ（毛といつた方が適當かも知れない）をキレイサツパリと切り落して知らぬ顏してゐる、理由を訊くとアハハと笑つて何も言はぬが內查の結果「あーとは言はれぬ奥さんはワカーイ」であつた、治廢記念號よ何處へ行く？▲市立醫院の橋本內科副醫長鼻の下が髭の筍だつたが先立つて天津での十河興中社長診察から歸つて俄然威張つてゐる、口髭が立派になつたとネ▲交通部の市川人事科長が近くアベックを樂しむべく裏面工作に着手したと發表したら不幸にも實父が亡くなつて歸京し以來ブリ／＼と怒つてゐるが最近リヤンガレンがトンと目につくといふ、七七日がすむまで眼に角を立てぬよう

天氣と氣温

けふの天氣　南西の風晴
日の出　前七時一九分
日の入　後五時二五分
月の出　前九時一二分
月の入　後六時三一分
きのふの氣溫　最高一七度九　最低三度四

義人長七郎

（禁上演映畫化）中川雨之助
竹枝一郎畫

（九十三）

もつれ糸（三）

「なんでも宜いから、ちよいと貸しておくれな」

「よし來た」

髭を剃る時に使つてゐる粗末な鏡を持つて來ると、お銀はそれを受取つて、ムックリと起き直りました。

「行燈を、もう少し此方へ寄せておくれ」

「おいしよ」

行燈の灯に近々と、お銀は自分の顔を、ヂッと鏡に映すのでした。

「市松さん」

「え」

「隨分ひどい傷だねえ」

「冗談ぢやねえ。ちよつと猫に引かゝれたほどぢやねえか」

「だつて、顔は役者稼、女に取つては、いちばん大事な處ぢやないか」

「そりや、まあさうだけれどなあ」

「たとへ傷は癒つても、傷痕は、いつまでも殘るだらうよ」

「そりや、さうかも知れない」

「銀米のお銀も、斯うなつちや、もうお仕舞さねえ……」

お銀は、バッタリ、鏡を投げ出すと、ホッとため息をつきました。

それは、悲しさうな、淋しさうな溜息でした。

「はゝゝ、なにもそんなに深刻がることあ無えさ。いくら傷痕がついたからといつて、美しい女は、どこ迄も美しい女だ。世間によくある奴で、三日何某といふ綽名を取るのも、まんざら惡くはねえだらうぜ、はゝゝゝ」

市松は、慰めるつもりでわざと冗談にいふのでした。

だが、お銀は、一向耳にかけないで、

「返せといふ物を、返してやれば、それで文句は無い筈だ。それだのに、人に、不具になるほどの傷を付けやがつて、畜生ッ！ こんな位なら、おめ〳〵返して遣るんぢやなかつた。アゝ惜しいことをしてしまつた」

キリ〳〵と、糸切歯を鳴らして、お銀は口惜がるのでした。

いふまでもなく、眞平に、御墨付を返してしまつたことを口惜しがつて居るのです。御墨付を受取つて置きながら、手傷を負はせた眞平の殘酷さを、怨み憤る氣持で、お銀の胸は、煮えくり返るのです。

それを、不思議さうに聞いて居た市松が。

「なんだい、その返した物といふのは……まさか、是ぢやねえだらうなあ」

こいひながら、袂を探つて取り出した物を、

「えッ」

と、お銀が、いそぎ受取つてみると。

何と驚くではありませんか。それは、確に眞平の手に渡したものとばかり思ひ込んでゐる御墨付なのでした。

「あッ、是がどうして、おまいの手に……」

あまりのことに、お銀は、目を一ぱいに見張つて、御墨付と、市松の顔とを、見くらべるばかりです。

「マア、おまい、これを取戻しておくれだつたのかい。あゝ嬉しい、禮を言ふよ」

苦痛も忘れて、お銀は喜ぶのでした。

ところが市松には、お銀の言葉の意味が、更にわからないのです。

「えッ、取戻したつて、なにを取戻したんだい？」

と、訊かれて、サア今度は、お銀が、わからなくなつてしまひました。